

ハイブリッド蓄電システム（V2H 連携）

V2H システム取扱説明書

V2H システム

: VSG3-666CN7



このたびは、ハイブリッド蓄電システムをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。

※ 本書だけでは本製品のすべての操作を行うことはできません。
必ずパワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書もあわせてご利用ください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できる場所に必ず保管してください。







ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害の発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

 アース線接続	*必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示	 感電注意	*感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
 禁止	*一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	 分解禁止	*分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
 注意	*一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示	 高温注意	*高温注意 特定条件においてやけどに対する注意を促す通告

警告

 注意	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 適切な施工・処置がなされない場合、感電や火災のおそれがあります。	 感電注意	災害などにより本システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本システムに近づかない 感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、蓄電池ユニットからの電解液が漏れるなどの危険がありますので、「ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムを停止させる場合」(51ページ)に従ってハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。
 分解禁止	付属品やオプション品を含め、本製品を分解・改造しない 感電や傷害を負うおそれがあります。	 禁止	コンセントに金属、紙、水などを差し込んだり、中に入れたりしない 火災・感電・故障のおそれがあります。
 禁止	子供を近づけない 感電・やけどのおそれがあります。	 禁止	たたく、蹴るなどして強い衝撃を与えない 変形により短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



禁止

放熱口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れてたりしない
火災・感電・故障の原因となります。



分解禁止

本製品のフロントパネルなど機器を開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



注意

子供に操作させない
感電、やけど、火災のおそれがあります。



禁止

付属品やオプション品などを含め、本製品の上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない
機器の変形や脱落などにより、けが・感電・故障のおそれがあります。



感電注意

本製品をぬれた手でさわると、ぬれた布でふくなどしない
感電のおそれがあります。



感電注意

自動開閉器（自動切替開閉器）やパワーコンディショナが接続されたブレーカ（ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ）および V2H システムが接続されたブレーカ（V2H システム用ブレーカ）等の端子台に触れない
感電のおそれがあります。



高温注意

パワーユニットの「高温部火傷注意」と記載されたラベルが貼ってある天面とその周囲には触れない
やけどのおそれがあります。



禁止

V2H システムの近くでガソリンやベンジンなどの揮発性溶剤を使用しない
火災・故障のおそれがあります。



禁止

本製品の近くに腐食性ガスが発生するものを置かない
腐食性ガスにより、火災・感電・故障のおそれがあります。



注意

異音や異臭がする場合や煙が出ている場合は、本製品には近づかず、専用アプリや室内リモコンで本システムの運転を停止し、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカおよび V2H システム用ブレーカを「OFF」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに買い上げの販売会社にご連絡ください。



禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD) を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない
機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよび ICD の動作に一時的な影響を与える場合があります。



注意

充放電コネクタケーブルを踏む、上に物を置く、ひきずるなどしない
ケーブルが損傷し、火災や感電のおそれがあります。



注意

充放電コネクタやケーブルの割れ、欠けなどを発見した場合や異常が発生した場合は、直ちに V2H システムの使用を中止する
感電・故障のおそれがあります。



感電注意

充放電コネクタを車両に接続する場合は、ぬれないようにする
感電・故障のおそれがあります。



注意

充放電コネクタケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、ドライヤーまたはぬるま湯で解凍してから使用する
充放電コネクタの電極部にお湯がかからないように注意してください。解凍後は水分をよく拭き取ってから使用してください。



禁止

充放電コネクタの金属接点に触れない
感電のおそれがあります。



禁止

自立運転時に灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものを接続する場合は、安全を確認してから行う
災害による自立運転時の場合は、接続すると火災の原因になることがあります。接続する際は、安全を確認しながらご利用ください。



禁止

自立運転時は、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない
夜間や曇りなどで太陽光発電電力や蓄電池ユニットおよび車両の電力が不足するとハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムは停止し、家電製品の電源が切れますので、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器（医療機器など）には絶対に使用しないでください。

⚠ 注意



アース線接続

アース工事を行う

アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事については必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。



注意

ソフトウェアの更新が専用アプリや室内リモコンの画面に表示されたら、必ずすぐに更新する

ソフトウェアの更新にはインターネットへの接続が必要です。



禁止

シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない

製品の変色原因となります。



注意

降雪や落雪などで本製品の放熱口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う

温度上昇によりハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが自動停止する可能性があります。



禁止

本製品の放熱口を塞いだり放熱口付近に荷物を置いたりしない

温度上昇によりハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが自動停止する可能性があります。



禁止

日差しが強い日や氷点下の日には、充放電コネクタおよび本体を素手でさわらない

やけどや凍傷の原因となります。



禁止

ご利用中に室内リモコンの電源スイッチを OFF にしない

蓄電池ユニットを併設している場合、蓄電池ユニットが充電されないため過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。



禁止

製品に殺虫剤・除草剤をかけない

製品の変色、破損の原因となることがあります。



禁止

本製品の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない

引火し、やけど・火災の原因となることがあります。なお、プロパンガスを設置されている場合は、業者の指示に従い対応してください。



注意

車両に接続しない場合、充放電コネクタはコネクタホルダに正しく格納する

破損のおそれがあります。



注意

取扱説明書を熟読する

ご使用される前には取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。



注意

植物などが本体の放熱口から内部に侵入しないように、日常点検を行う

温度上昇により本体の自動停止、または破損の可能性がります。



禁止

本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない

テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。受信している電波が弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



注意

動物の排泄物等が付着することがないように、日常点検を行う

錆などの腐食が促進され、製品倒壊の原因となることがあります。



注意

本システムや太陽光発電パネルの配線などから発生する電氣的雑音で、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。



注意

製品に植栽などの土がかからないようにする

錆などの腐食が促進され、製品倒壊の原因となることがあります。



禁止

点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない

蓄電池ユニットを併設している場合、蓄電池ユニットが充電されないため過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。



禁止

停電時の本製品では、負荷によって使用できないものがある

ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。



注意

廃棄処理・リサイクルについて

本製品の使用を終了した後は、適切な方法ですみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

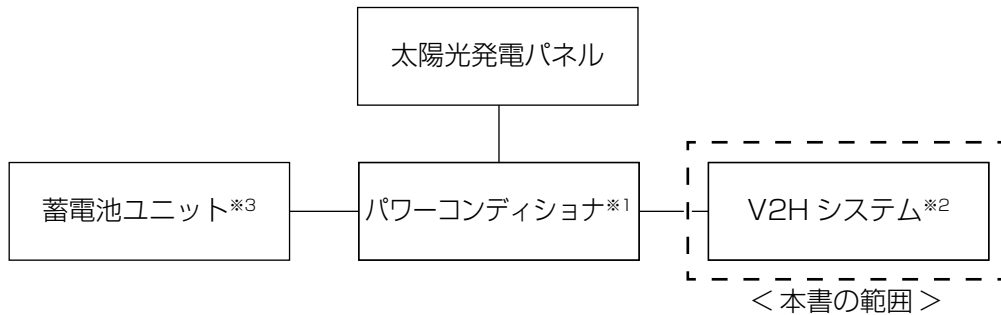
本書について

本書は、V2H システムの内容を記述します。

必ずパワーコンディショナ同梱のパワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書もあわせて参照してください。

本書で用いる用語は以下のとおりです。

ハイブリッド蓄電システム	: パワーコンディショナ・蓄電池ユニット・太陽光発電パネルを連携させて動作する蓄電システム
太陽光発電	: 太陽光のエネルギーを電力に変換し供給する動作
PV	: 太陽光発電パネルもしくはそれを含む太陽光発電システムを指す略称
車両	: 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車など、駆動用に蓄電池を備えた自動車
V2H システム	: 車両の大容量蓄電池から電力を取りだし、家庭の電力として使用することができるシステムで、パワーユニット・プラグホルダの総称
系統	: お客さまが契約している電力会社との間で、電力を買電または売電するための送電線
自動運転モード	: 設定された時間帯の中で、家庭内への電力供給および車両や蓄電池ユニット ^{*3} への充電を自動で行う動作
充電	: 太陽光発電または系統の電力を車両や蓄電池ユニット ^{*3} に蓄える動作
放電	: 車両や蓄電池ユニット ^{*3} に蓄えている電力を供給する動作
給電	: 太陽光発電や車両、蓄電池ユニット ^{*3} に蓄えられた電力をご家庭に供給する動作
専用アプリ	: 本システムを操作するための専用アプリケーション ^{*4}
通知	: 本システムの動作に関する情報をスマートフォンで受信する機能



※ 1: パワーコンディショナは、ニチコン社製 [ES-E2J] に限ります。詳しくは、パワーコンディショナ同梱のパワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書をご参照ください。

※ 2: V2H システム以外の項目は、パワーコンディショナ同梱のパワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書をご参照ください。

※ 3: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、蓄電池の充放電動作は行いません。

※ 4: 本システムは、ハイブリッド蓄電システムの専用アプリ「エネモニター」を使用してください。(14 ページ)

もくじ

安全上のご注意	2
本書について	5
電気の「家産家消」、もしもの「災害対策」	9
構成例	10
取り扱い上のお願い	11
設置場所について	11
離隔距離について	11
パワーユニット	11
プラグホルダ	11
外形寸法図 / 各部名称	12
V2H システム (VSG3-666CN7)	12
パワーユニット	12
プラグホルダ	12
ハイブリッド蓄電システムの専用アプリについて	14
専用アプリ / 室内リモコンの表示や画面構成について	14
車両との接続方法	17
プラグホルダの操作パネルで車両と接続する場合	17
専用アプリ・室内リモコンで車両と接続する場合	18
車両との切断方法	19
プラグホルダの操作パネルで車両と切断する場合	19
専用アプリ・室内リモコンで車両と切断する場合	20
通常時の使い方	21
V2H システムの各運転モードについて (連系時)	21
自動運転モード	22
蓄電池充電 (蓄電池ユニット併設時のみ設定可能)	23
車両充電	23
放電中の動作について	23
V2H システムの運転モードを選ぶ (連系時)	25
プラグホルダの操作パネルで V2H システムの運転モードを選ぶ場合	25
専用アプリ、室内リモコンで V2H システムの運転モードを選ぶ場合	26
V2H システムの充放電時刻を変更する	27
V2H システムの各種設定について	29

V2H システムの各種設定を設定する	32
蓄電池ユニットの各種設定について【蓄電池ユニット併設時のみ】	33
各グラフについて【専用アプリのみ】	34
グラフを表示する【専用アプリのみ】	35
機器情報について	36
停電時の使い方（自立運転）	37
V2H システムの各運転モードについて（停電時）	37
停電時にプラグホルダの操作パネルを操作した場合	39
停電時に車両を利用した起動方法	40
車両の電源ソケットを利用した起動方法	40
充放電コネクタを利用した起動方法	42
停電時に自動で家電製品をご利用になりたい場合	43
復電時の操作	43
こんなときは	44
ブザー音や異音について	44
動作がおかしいと感じたとき	44
ブレーカが頻繁に落ちる場合	44
契約電力を変更する場合	44
停電時に家電製品が使用できない場合	44
室内リモコンの画面が表示されない場合	44
100%まで充電できない場合	44
太陽光発電電力で充電できない場合	45
夏季に充放電・発電動作が停止した場合	45
車両が充放電できない場合	45
蓄電池ユニットが充放電できない場合（蓄電池ユニット併設時）	45
充放電の動作切り替え時に数秒時間がかかる場合	45
定格で充電できない場合	45
コネクタロック・解除を繰り返す場合	45
車両が満充電後、すぐに放電できない場合	46
停電時に放電できない場合	46
停電時に車両の蓄電池残量が下限値を下回った場合	46
充放電コネクタがコネクタロックできない場合	46
充放電コネクタが取り出せなくなった場合	46
充放電コネクタを落としてしまった場合	47
充放電コネクタが濡れてしまった場合	47
充放電コネクタが凍結してしまった場合	47
その他ご使用に関する操作方法等	47
充放電コネクタを緊急離脱する場合	47
停電発生時の動作を変更したい場合	48
長期不在の場合	50
ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを停止させる場合	51
ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを起動させる場合	53

点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき	55
点検コードのメッセージと処置	55
V2H システムを再起動する場合	59
V2H システムを廃棄する場合	60
風水害または地震などの対応	60
蓄電池ユニットのメンテナンスモード (自動点検) について	60
車両に接続する際の注意点	60
日産自動車株式会社の車両 (EV) に接続する際の注意点	61
三菱自動車株式会社の車両 (EV) に接続する際の注意点	61
メルセデス・ベンツ日本合同会社の車両 (EV/PHEV) に接続する際の 注意点	61
保証とアフターサービス	62
保証について	62
アフターサービスについて	62
補助金に関するご注意	62
購入時に補助金の交付を受けた方	62
遠隔出力制御ルールに関するご注意	63
仕様	64
V2H システム	64
V2H システムの使用温度範囲について	64

電気の「家産家消^{※1}」、もしもの「災害対策」

本製品は、指定のハイブリッド蓄電システムと併用して、車両の充電や車両を蓄電池として活用、暮らしに必要な電気を供給する「V2Hシステム」です。

蓄電池・太陽光パワーコンディショナと連携する V2H システム

指定のハイブリッド蓄電システムのパワーコンディショナと連携することにより、車両への充電に加え、太陽光発電と車両を組み合わせて、自宅で作った電気を上手に「家産家消」することで毎日の暮らしで節電ができます。

車両を使うシーンに合わせて最適な設定が可能

スマホアプリおよび室内リモコンでハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの制御が可能のため、車両をご利用いただくシーンに合わせて各種設定ができます。

もしもの停電時も「安心」！

本システムは非常時でも車両を走行させたり、家庭内へ電力を供給するために電力をバックアップします。突然の停電でも本製品に接続している家電製品は、そのままご利用いただけます^{※2}。

- 昼間の晴天時は、太陽光発電と車両の蓄電池を併用して電力供給します。また、蓄電池ユニットを併設していれば、蓄電池ユニットからも電力供給します。
- 雨や曇りの日、夜間の停電でも電力を蓄えていた蓄電池ユニットおよび車両から電力を供給します。
- 全負荷 200 V にも対応。災害などの停電時でもエアコンや IH 調理器などの 200 V 機器を、蓄電した電気で使用することが可能です。

停電への備え

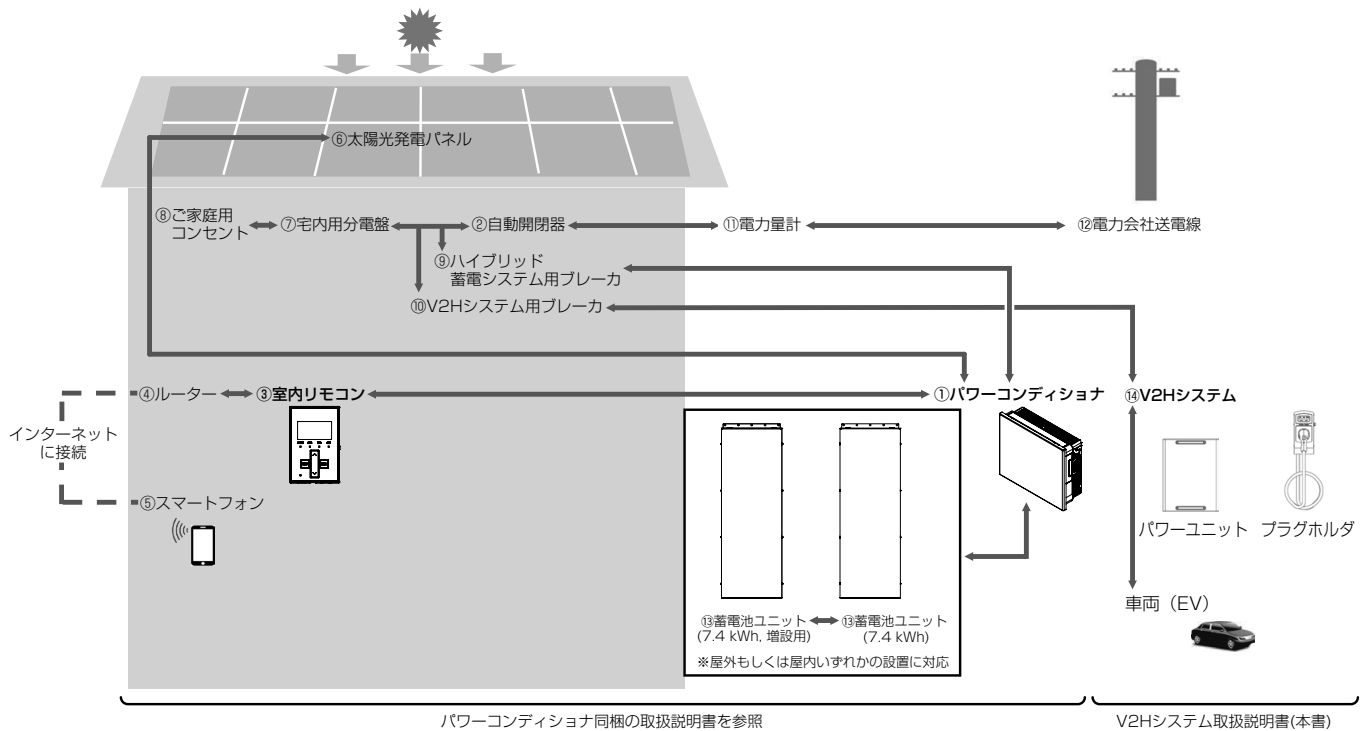
本製品は、停電が発生した場合への備えとして以下のような機能を搭載しています。

- 「車両放電下限値」設定 (29 ページ)
停電が発生した場合に備えて、設定した割合の電力を車両に残しておく機能です。高い数値に設定すると停電時に多くの電力を供給することができますが、通常時に車両からの電力供給が少なくなり経済性が下がりますのでご注意ください。
- 運転モード「車両充電」設定 (23 ページ)
設定すると、車両が満充電になるまで充電を行います。台風の接近時などで車両に電力を確保しておきたいときにご利用ください。なお、設定後に車両が満充電になると車両のコネクタロックを自動的に解除してから、車両充電が設定される直前の自動運転モードで動作します。

※ 1: 家で作った電気を家で使うことを指すニチコン株式会社の造語です。

※ 2: 停電時には、電力供給が一瞬途切れます。本製品に接続している家電製品の仕様によっては電源が切れますので、その時は電源を入れ直してください。電源が切れると支障がある場合は、本製品に接続しないでください。なお、蓄電池ユニットがない場合は、太陽光発電パネルが発電している場合に限り本製品をご利用いただけます。

構成例



① パワーコンディショナ

太陽光発電用パワーコンディショナおよび蓄電池ユニット用パワーコンディショナの機能を内蔵しており、直接接続した太陽光発電パネルと蓄電池ユニットを連携させた制御を行います。蓄電池ユニットに対し太陽光発電パネルの電力または電力会社送電線の電力（買電）を充電し、必要に応じて蓄電池ユニットに充電した電力を放電します。また、太陽光発電の余剰電力が発生した際は、電力会社送電線へ送ります（売電）。

② 自動開閉器

パワーコンディショナと連携し、電力会社送電線の状態（通電 / 停電）に応じて自動的に開閉動作を行います。
通電時：LED 緑点灯 / 停電時：LED 赤点灯（電力会社送電線との電路を遮断しパワーコンディショナが自立運転します。）

③ 室内リモコン

ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

④ ルーター

ハイブリッド蓄電システムをスマートフォンやインターネットと接続するための機器です。

⑤ スマートフォン

専用アプリでハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。専用アプリのご利用には、スマートフォンをインターネットに接続する必要があります。

⑥ 太陽光発電パネル

パワーコンディショナに接続し、太陽光を受けて発電します。

⑦ 宅内用分電盤

契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカおよび分岐ブレーカを内蔵しています。

⑧ ご家庭用コンセント

家庭負荷用の電源コンセントです。通常時だけでなく、停電時でも本システムから電力を供給できます。

⑨ ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ

パワーコンディショナに過電流・漏電が発生した場合、自動的に電路を遮断します。

⑩ V2H システム用ブレーカ

V2H システムに過電流・漏電が発生した場合、自動的に電路を遮断します。

⑪ 電力量計

電力会社から購入した電力（買電）と、電力会社に売る余剰電力（売電）を計量します。

⑫ 電力会社送電線

不足電力を電力会社から購入し（買電）、太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

⑬ 蓄電池ユニット

パワーコンディショナを介して電力を蓄える、または蓄えた電力を放電します。また、2 台設置することで蓄電池容量を増やすことができます。

⑭ V2H システム

車両への充電、車両からの放電を行うための接続機器です。

取り扱い上のお願い

設置場所について

本製品の設置場所について、以下の状態であることを確認してください。また、設置後も状態を維持できるように、定期的に入入れをするようにしてください。

共通

■次のような場所には取り付けない

V2H システム

- 屋内
 - 標高 2000 m より高いところ
 - 岩礁隣接地域
 - 重塩害地域
 - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
 - 振動、衝撃の影響が大きいところ
 - 油蒸気のあるところ
 - 浸水のおそれがあるところ
 - 電界の影響が大きいところ
 - 車両と接触するおそれや、排ガスが直接あたるところ
 - 風通しが悪いところ（物置、倉庫、シャッター付きの車庫を含む）
 - 販売会社で決められていないところ^{※1}
 - 建物の屋根等から雪庇、つらら等が落下するところ
 - 積雪がある地域
- ※ 下記の対策をすることで、取り付けが可能となります。
- 雪囲いや、雪が積もったり、吹き込んだりしない場所への設置など、積雪への対応をしてください。
 - 雪囲いを設置する場合は、本体の周りにスペースを確保してください。特に、パワーユニットの放熱口を塞がないようにしてください。
 - V2H システム（パワーユニット、プラグホルダ）および周囲への融雪剤散布は、錆が発生するおそれがあるためお控えください。

※ 1: 設置条件を満たしていない場合、点検・修理等を行う際に足場の設置などの対応費用を請求する場合があります。



禁止

離隔距離について

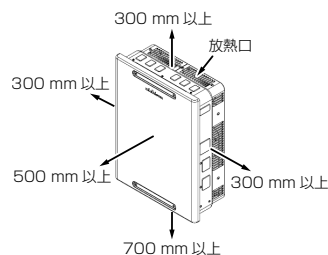
V2H システムの周囲は、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。また、それらの妨げにならないよう、離隔距離範囲内には物を置かないでください。

パワーユニット

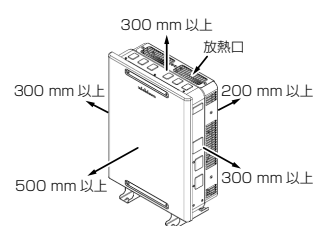
パワーコンディショナに近接して設置する場合は、パワーユニットの離隔距離を確保してください。

- 左右 : それぞれ 300 mm 以上
- 上 : 300 mm 以上
- 前 : 500 mm 以上
- 下 : 700 mm 以上 【Aのみ】
- 背面 : 200 mm 以上 【Bのみ】

A: 壁掛設置の場合



B: 据置設置の場合

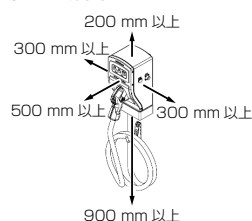


プラグホルダ

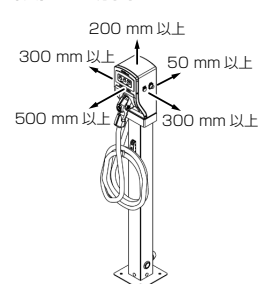
パワーコンディショナに近接して設置する場合は、プラグホルダの離隔距離を確保してください。

- 左右 : それぞれ 300 mm 以上
- 上 : 200 mm 以上
- 前 : 500 mm 以上
- 下 : 900 mm 以上 【Aのみ】
- 背面 : 50 mm 以上 【Bのみ】

A: 壁掛設置の場合



B: ポール設置の場合

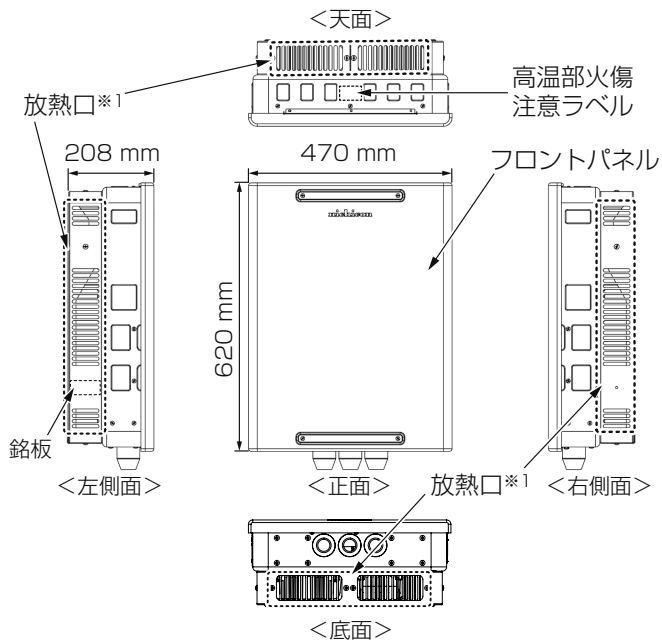


外形寸法図 / 各部名称

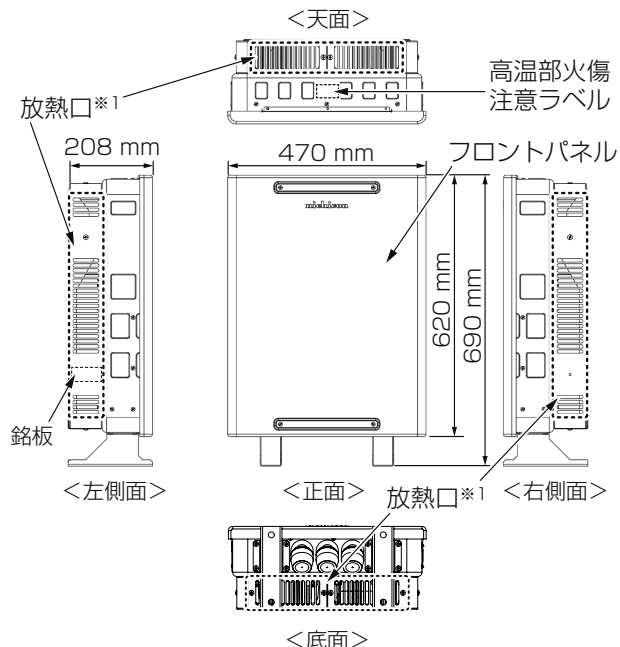
V2H システム (VSG3-666CN7)

パワーユニット

A: 壁掛設置の場合



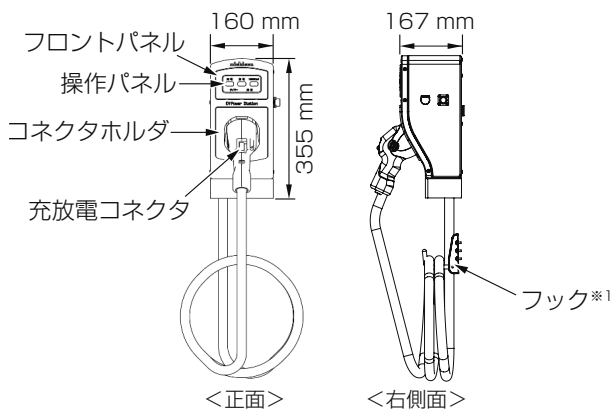
B: 据置設置の場合



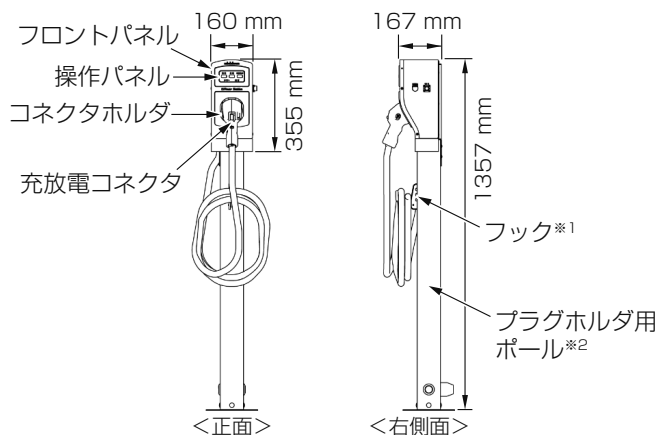
※ 1: 放熱口が塞がると温度上昇により V2H システムが自動停止する場合があります。放熱口を塞がないようご注意ください。

プラグホルダ

A: 壁掛設置の場合



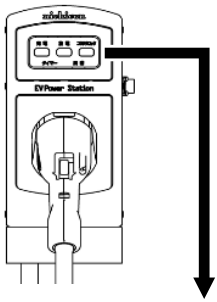
B: 据置設置の場合



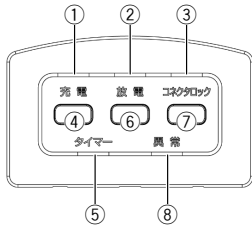
※ 1: 充放電コネクタケーブルは地面にこすったりほかの物にぶつからないようフックに引っ掛けてください。

※ 2: プラグホルダ用ポールはオプション品 (別売品) です。

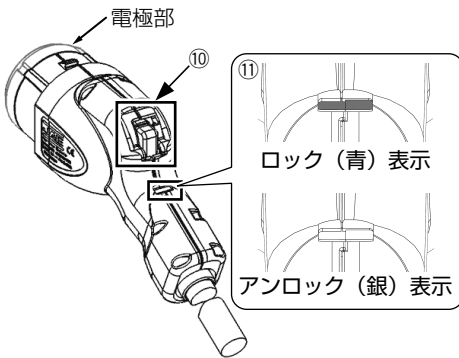
■ プラグホルダ



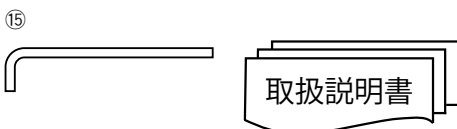
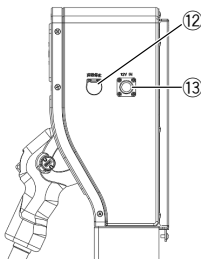
● 操作パネル



● 充放電コネクタ⑨



● 緊急時操作部



- ① **充電 LED**
V2H システムが充電動作しているときに青色に点灯します。
 - ② **放電 LED**
V2H システムが放電動作しているときに青色に点灯します。
 - ③ **コネクタロック LED**
充放電コネクタがロックされているときに青色に点灯します。
 - ④ **充電ボタン**
充放電コネクタをロックし、車両充電を開始します。
 - ⑤ **タイマー LED**
自動運転モード動作時に青色に点灯します。
 - ⑥ **放電ボタン**
V2H システムの動作状態を切り替えます。
 - ⑦ **コネクタロックボタン**
充放電コネクタのロック、解除をおこないます。
 - ⑧ **異常 LED**
V2H システム異常時に赤色に点灯します。
 - ⑨ **充放電コネクタ (ケーブル含む)**
V2H システムと車両を接続します。
 - ⑩ **リリースボタン**
充放電コネクタを引き抜くときに押します。
 - ⑪ **ロック表示**
コネクタロックされているかを表示します。
青：ロック時
銀：アンロック時
 - ⑫ **非常停止ボタン**
非常時に押すことで、充電・放電動作を緊急停止します。
 - ⑬ **12V IN**
停電時に車両から本システムを起動する場合に必要な、車両と V2H システム間を接続する 12V 電源ケーブルの接続口です。
- 以下は付属品です。なくさないように保管してください。
- ⑭ **12V 電源ケーブル**
停電時に車両と V2H システム間を接続するケーブルです。使用する際は「車両の電源ソケットを利用した起動方法」(40 ページ) を参照してください。
 - ⑮ **充放電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付き)**
充放電コネクタが取り出せなくなった緊急時に使用します。使用する際は「充放電コネクタを緊急離脱する場合」(47 ページ) を参照してください。

ハイブリッド蓄電システムの専用アプリについて

お手持ちのスマートフォン端末に専用アプリをインストールすると、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムの操作や稼働状態、履歴を確認することができます。

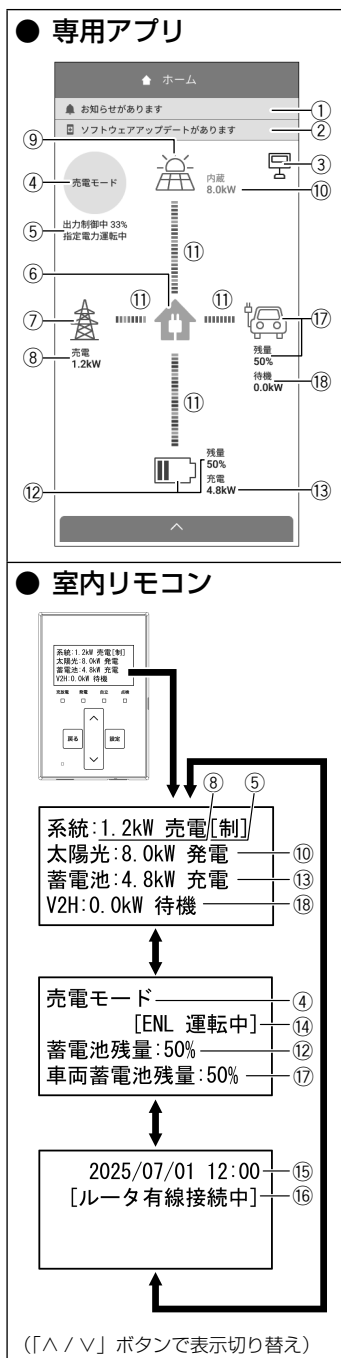
重要

ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムの操作は、必ずハイブリッド蓄電システムの専用アプリ「エネモニター」を使用してください。EVパワー・ステーションの専用アプリ「EVPS controller」は使用できませんのでご注意ください。ハイブリッド蓄電システムの専用アプリの入手・設定について詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「ハイブリッド蓄電システムの専用アプリについて」を参照してください。

専用アプリ / 室内リモコンの表示や画面構成について

専用アプリや室内リモコンに表示される電力値や残量は目安としてご利用ください。

■ 画面例 A



A 専用アプリおよび室内リモコンのホーム画面表示例を示します。

- ① お知らせ^{*1}【専用アプリのみ】
お知らせリストに未読のメッセージ^{*1}があるとき表示します。タッチするとお知らせに関する画面を表示します。
- ② ファームウェア更新【専用アプリのみ】
ファームウェアに更新があるとき表示します。
- ③ ネットワーク状態アイコン【専用アプリのみ】
専用アプリと室内リモコンの接続状態^{*2}を表示します。

	専用アプリと室内リモコンが接続している場合
	専用アプリと室内リモコンが接続していない場合

- ④ 運転モード
ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムの現在の運転モードを表示します。
- ⑤ 発電抑制
電力会社による発電抑制（出力制御、電圧上昇抑制）や HEMS^{*9}による発電抑制が行われているときに表示されます。表示中は売電量が減る場合があります。室内リモコンの場合は、⑧売買電電力の表示の後ろに「[制]」を表示します。

- ⑥ 住宅アイコン【専用アプリのみ】
ご家庭内を意味します。

- ⑦ 電柱アイコン【専用アプリのみ】
系統（電力会社）を意味します。

- ⑧ 売買電電力 [kW]
売電、買電の状態および売買電電力^{*3}を表示します。

売電	100 W 以上電力を売電している場合
買電	100 W 以上電力を買電している場合
非表示	売買電電力が 100 W 未満の場合

- ⑨ 太陽光発電アイコン【専用アプリのみ】
太陽光発電の状態を意味します。

	太陽光発電の電力が 100 W 以上の状態
	太陽光発電の電力が 100 W より小さい、または発電していない場合

- ⑩ 太陽光発電電力 [kW]
太陽光発電電力^{*3}を表示します。

- ⑪ 電力の流れ【専用アプリのみ】
各機器間の電力の流れをアニメーションで表示します。

流れなし	100 W 未満 ^{*4}
遅い流れ	100 W 以上 1.0 kW 未満
速い流れ	1.0 kW 以上

- ⑫ 蓄電池アイコン [%]
蓄電池ユニットの残量をアイコンと数値で表示します^{*5、*6}。

⑬ **蓄電池ユニットの状態および充放電電力 [kW]**
蓄電池ユニットの状態および充放電電力を表示します*³.*⁵.*⁷。



放電	100 W 以上電力を放電している場合
充電	100 W 以上電力を充電している場合
待機	充放電を行っていない場合 充放電電力が 100 W 未満の場合

⑭ **リモート表示【室内リモコンのみ】**
見守りサーバー、ECHONET Lite*⁸、HEMS*⁹ など外部からの通信により運転しているときに表示されます。
通信状態ではないときは表示されません。

⑮ **現在日時【室内リモコンのみ】**
現在の日時を表示します*¹⁰。


⑯ **接続方式表示【室内リモコンのみ】**
専用アプリと室内リモコンが接続していた場合に、現在の接続方式を表示します*²。

⑰ **車両アイコン [%]**
車両の蓄電池残量をアイコンと数値で表示します*¹¹.*¹²。

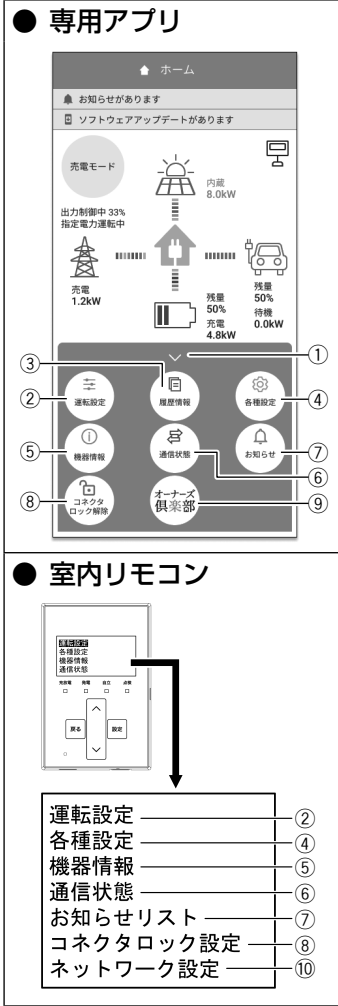
	コネクタロック状態 車両がコネクタロックされている場合の表示です。車両は緑で表示され ます。
	コネクタロック解除状態 車両がコネクタロックされてない場合の表示です。車両はグレーアウト表 示されます。

⑱ **車両の状態および充放電電力 [kW]**
車両の状態および充放電電力を表示します*³.*⁷.*¹²。

放電	100 W 以上電力を放電している場合
充電	100 W 以上電力を充電している場合
待機	充放電を行っていない場合 充放電電力が 100 W 未満の場合

- ※ 1: お知らせは未読のままにしないでください。万が一の機器故障時に早期発見、早期対処するためにも日頃から「 お知らせがあります」表示が出た場合はすぐにご確認ください。
- ※ 2: 詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書を参照してください。
- ※ 3: 他の機器 (HEMS など) の値とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。
- ※ 4: 電力が小さい (100W 未満) 場合でも、センサーの誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。
- ※ 5: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。
- ※ 6: 一度使い切った電池がしばらくすると使える場合があるように、蓄電池特性により、しばらくすると表示が変わることがあります。目安としてご利用ください。
- ※ 7: 100 W 未満の場合は、0.0 kW と表示します。
- ※ 8: 「ECHONET Lite」「エコーネットライト」は、エコーネットコンソーシアムの登録商標です。
- ※ 9: 「HEMS」は、Home Energy Management System の略です。家庭で使うエネルギーを賢く管理するシステムです。
- ※ 10: インターネットに接続していない場合は、ご利用中に少しずつずれが発生します。通常はインターネットに必ず接続してください。
- ※ 11: 車両の値とずれることがありますが異常ではありません。目安としてご利用ください。なお、車種によっては、残量表示が 0% にならない車両があります。
- ※ 12: コネクタロックされていない場合は、表示しません。

■ 画面例 B



B 専用アプリおよび室内リモコンの画面構成を示します。

① ドロワーメニュー【専用アプリのみ】

タッチまたはスワイプすると各ボタンを表示します。各ボタンからさまざまな設定・操作を行います。

② 運転設定

運転開始や運転停止、運転モードの選択や充放電時間に関するメニューを開きます。

運転モード設定	25 ページ
充放電時間帯設定	27 ページ
運転停止 / 運転開始	51、53 ページ

③ 履歴情報【専用アプリのみ】

各制御の履歴情報や各種グラフに関するメニューを開きます。

出力制御履歴	※ 2
出力制御スケジュール	
電圧上昇抑制履歴	
HEMS 発電制御履歴	
発電 / 売買電グラフ* ¹	34 ページ
蓄電池充放電グラフ* ¹	
車両充放電グラフ* ¹	

④ 各種設定

構成機器の各種設定に関するメニューを開きます。

太陽光発電	※ 2
蓄電池ユニット* ¹	33 ページ
V2H システム* ¹	29 ページ
アプリ設定	※ 2

⑤ 機器情報

ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの各種情報に関するメニューを開きます。

登録情報	36 ページ
設定情報	※ 2

⑥ 通信状態

ハイブリッド蓄電システムのネットワーク接続状態を表示します。

通信情報	※ 2
------	-----

⑦ お知らせ (お知らせリスト)

ハイブリッド蓄電システムで発生した動作や障害に関する点検コードの一覧を表示します。

お知らせ	※ 2
------	-----

⑧ コネクタロック*¹ / コネクタロック解除*¹

車両との接続 (コネクタロック) および解除 (コネクタロック解除) を行います。

コネクタロック / コネクタロック解除	17、19 ページ
---------------------	-----------

⑨ オーナーズ倶楽部*²【専用アプリのみ】

専用アプリの WebView でニチコンオーナーズ倶楽部を表示します。ログインすると、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの状態を WebView で表示します。

⑩ ネットワーク設定【室内リモコンのみ】

ハイブリッド蓄電システムのネットワーク接続に関するメニューを表示します。

ネットワーク設定	※ 2
----------	-----

※ 1: 併設している機器構成により画面構成が異なります。

※ 2: 詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書を参照してください。

車両との接続方法

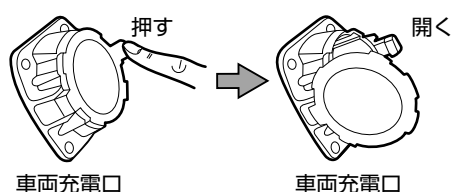
V2H システムを併設している場合、車両との接続（コネクタロック）は、車両が停止した状態で行います。車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態（POWER OFF）にします。車両との接続（コネクタロック）は、プラグホルダの操作パネル、専用アプリまたは室内リモコンで操作することができます。

メモ

- POWER OFF の名称は、車種により異なる場合があります。車両の取扱説明書をご参照ください。
- 車両の取扱説明書を確認してから、下記操作を行ってください。

プラグホルダの操作パネルで車両と接続する場合

1 車両を準備する



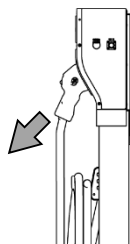
V2H システムと接続するために以下①～④に従って、車両側の準備をしてください。

- ① 車両のシフトレバーを P (パーキング) 位置にする。
- ② 車両のメーターパネルを OFF の状態にする。
- ③ パーキングブレーキをかける。
- ④ 車両の充電口を開く。

メモ

- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

2 コネクタホルダから充放電コネクタを取り外す

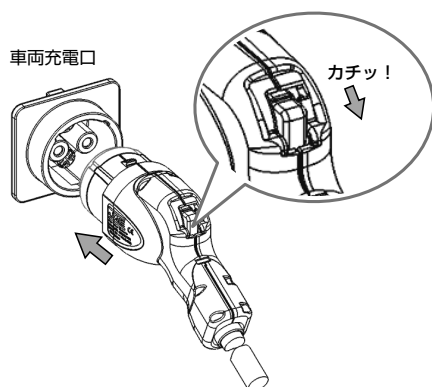


充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

メモ

- コネクタホルダから充放電コネクタが取り出せなくなった場合は、コネクタロックボタンを一度押すと、点検コード「BI951」を表示してロックが解除されます。(59 ページ)

3 充放電コネクタを車両に接続する

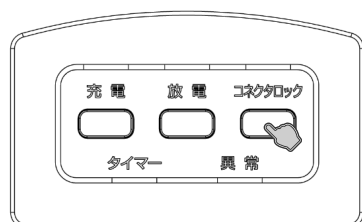


充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタロックできません。
- 充放電コネクタ接続中は、車両を移動しないでください。車両の充電口や充放電コネクタが破損する可能性があります。

4 V2H システムの動作を開始する



操作パネルの「コネクタロック」ボタンをタッチしてください。コネクタロックを行ったあと、V2H システムの動作を開始します。(25 ページ)

メモ

- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- コネクタロック解除した直後にロックするときは、ロックするまで 20 秒程度かかることがあります。

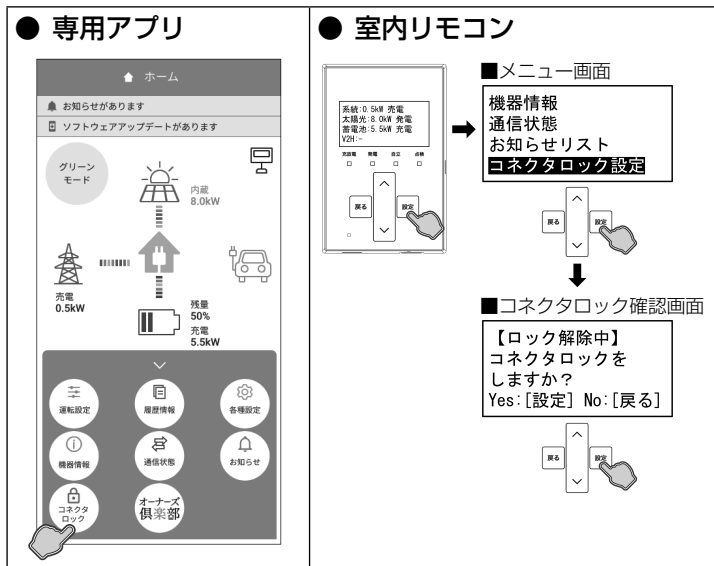
専用アプリ・室内リモコンで車両と接続する場合

プラグホルダの操作パネルでコネクタロックを行う場合、本操作は不要です。

1 充放電コネクタを車両に接続する

「プラグホルダの操作パネルで車両と接続する場合」（17 ページ）の手順 1 ～ 3 を行ってください。

2 「コネクタロック」(室内リモコンは「コネクタロック設定」を選択して「設定」をタッチする



- **専用アプリの場合**
車両アイコンがグレーアウト表示されていることを確認し、ドローメニューの「コネクタロック」をタッチ→コネクタロックの確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、コネクタロックを行います。コネクタロックに成功すると、「ホーム」画面に戻ります。「いいえ」をタッチするとコネクタロックせずに「ホーム」画面に戻ります。
- **室内リモコンの場合**
「設定」をタッチ→メニュー画面で「コネクタロック設定」をタッチ→コネクタロック確認画面に切り替わります。「設定」をタッチするとコネクタロックを行います。コネクタロックに成功すると、前画面に戻ります。「戻る」をタッチするとコネクタロックせずに前画面に戻ります。

メモ

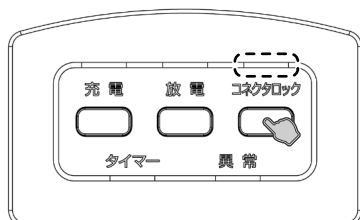
- コネクタロックは 1 分程度かかることがあります。
- コネクタロックをした場合は、「V2H システムの運転モードを選ぶ (連系時)」（25 ページ）で設定されている運転モードで動作します。別の運転モードで動作させたい場合は、運転モードを変更してください。
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- コネクタロックに失敗した場合は、以下を確認してください。
 - V2H システムの充放電コネクタが車両に正しく接続されていない場合があります。充放電コネクタの接続を確認してください。
 - コネクタロック解除の直後にコネクタロックを行った場合、コネクタロックが失敗することがあります。20 秒程度経過後、再度「コネクタロック」をタッチしてください。
- 車両の蓄電池残量が 10% を下回った状態でコネクタロックを行うと、車両の蓄電池保護のため、選択されている運転モードに関係なく、自動的に「車両充電」に移行して、車両の蓄電池残量が 12% 程度になるまで強制的に充電を行います。12% 程度まで充電を行った後は、直前の自動運転モードに戻ります。
 - 「車両充電」に移行している間は、ホーム画面上に「車両充電」を表示します。
 - 「車両充電」に移行している間は、運転モードの変更はできません。変更を確定した場合でも、変更内容は本システムには反映されません。「車両充電」終了後に変更してください。
- 「車両充電」に移行している間であっても、コネクタロックおよびコネクタロック解除は、専用アプリ、室内リモコンまたはプラグホルダの「操作パネル」で操作することができます。

車両との切断方法

車両との切断（コネクタロック解除）は、プラグホルダの操作パネル、専用アプリ、または室内リモコンで操作することができます。

プラグホルダの操作パネルで車両と切断する場合

1 コネクタロックを解除する

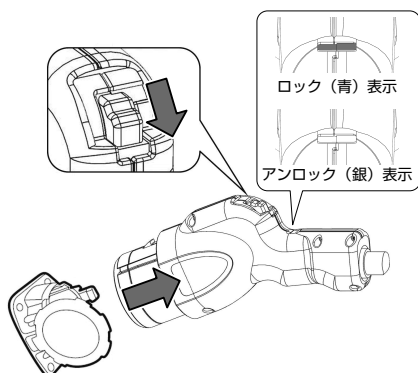


「コネクタロック」をタッチすると、コネクタロック LED が点滅します。ロックの解除が完了すると、コネクタロック LED が消灯します。

メモ

- コネクタロック LED が点灯している場合は充放電コネクタを外すことはできません。充放電コネクタを外したい場合は、コネクタロックボタンをタッチしてコネクタロックの解除が必要です。
- 「車両充電」が動作していた場合は、コネクタロックが解除されると、最後に設定された自動運転モードに切り替わります。

2 車両から充放電コネクタを取り外す

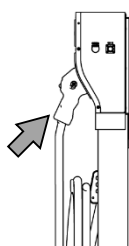


充放電コネクタのロック / アンロック表示がアンロックの「銀」になっていることを確認します。充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、充放電コネクタを引き抜きます。

メモ

- 車両の充放電動作中は充放電コネクタを外さないでください。
- 充放電コネクタを外す場合は、プラグホルダの操作パネルの全てのランプが消灯していることを確認してから行ってください。
- 充放電コネクタを取り外せないときは「充放電コネクタを緊急離脱する場合」(47 ページ) を参照して取り外してください。

3 コネクタホルダに充放電コネクタを収納する



充放電コネクタをコネクタホルダの奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

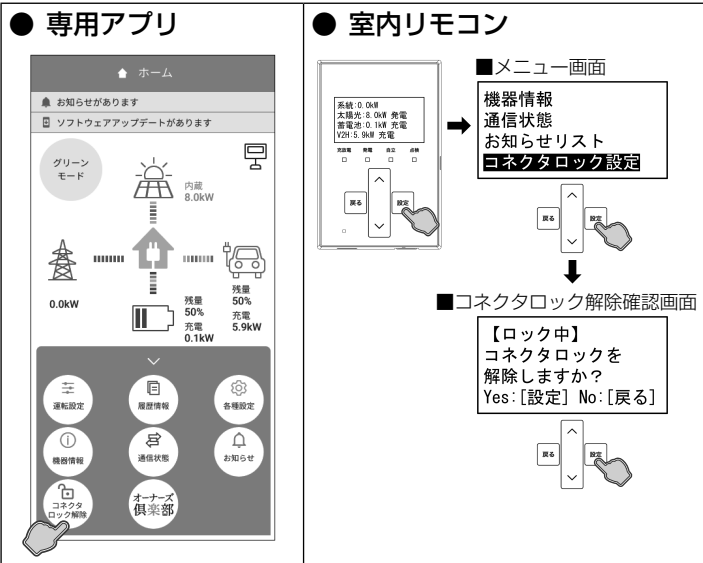
メモ

- 雨水やほこりなどを避けるために、V2H システムを使用しないときは充放電コネクタをコネクタホルダに収納してください。

専用アプリ・室内リモコンで車両と切断する場合

プラグホルダの操作パネルでコネクタロック解除を行う場合、本操作は不要です。

1 「コネクタロック解除」(室内リモコンは「コネクタロック設定」を選択して「設定」) をタッチする



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「コネクタロック解除」をタッチ→コネクタロック解除の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、コネクタロックの解除を行います。コネクタロック解除に成功すると、「ホーム」画面に戻ります。「いいえ」をタッチするとコネクタロックを解除せずに「ホーム」画面に戻ります。

メモ

● 「車両充電」が動作していた場合は、コネクタロックが解除されると、動作を終了して最後に設定された自動運転モードに切り替わります。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「コネクタロック設定」をタッチ→コネクタロック解除確認画面に切り替わります。「設定」をタッチするとコネクタロックの解除を行います。コネクタロック解除に成功すると、前画面に戻ります。「戻る」をタッチするとコネクタロックを解除せずに前画面に戻ります。

メモ

● 「車両充電」が動作していた場合は、コネクタロックが解除されると、動作を終了して最後に設定された自動運転モードに切り替わります。

2 充放電コネクタをコネクタホルダに収納する

「プラグホルダの操作パネルで車両と切断する場合」(19 ページ) の手順 2 ~ 3 を行ってください。

通常時の使い方

V2H システムの各運転モードについて（連系時）

本製品では、以下の運転モードを選択することができます。

運転モード		モード説明	
自動運転モード	グリーンモード ^{★※1}	放電時間帯	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は、車両や蓄電池ユニットへ充電します。不足分は車両や蓄電池ユニットから放電します。
		充電時間帯	電力会社の電力を車両や蓄電池ユニットへ充電します。太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。
	売電モード ^{※1}	放電時間帯	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は、売電します。不足分は車両や蓄電池ユニットから放電します。
		充電時間帯	電力会社の電力を車両や蓄電池ユニットへ充電します。太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。
蓄電池充電 ^{※2}		太陽光の発電状態や時間帯、充電上限設定に関係なく蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。	
車両充電 ^{※3}		太陽光の発電状態や時間帯、充電上限設定に関係なく車両へ充電を行うモードです。	

★：製品出荷時の設定値

※1：蓄電池ユニットとV2Hシステムのいずれも併設していない場合はご利用いただけません。

※2：蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定できます。

※3：コネクタロック状態の時のみ設定できます。

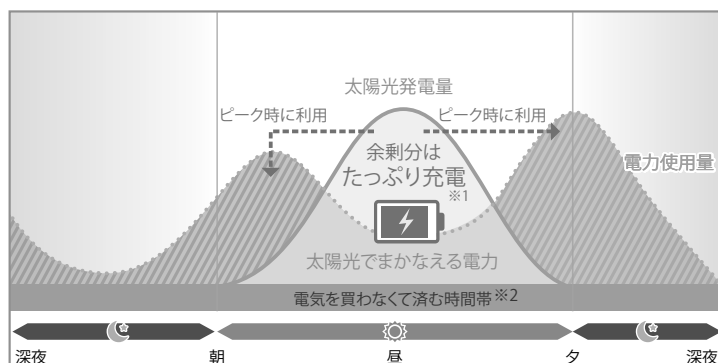
自動運転モード

設定された時間帯に従って、車両や蓄電池ユニットの放電もしくは充電を行うモードです。希望する動作に応じてそれぞれご利用ください。なお、V2Hシステムおよび蓄電池ユニットのいずれも併設していない場合にはご利用いただけません。

グリーンモード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を車両や蓄電池ユニットに充電します。蓄えた電力を太陽光の発電電力で補えない場合に使うことで、電力会社からの購入電力を減らすモードです。太陽光発電の電力をできる限り使用した生活をしたい方や夜間の電気料金が太陽光の売電価格より高い方にお勧めです。

■ グリーンモード



※ 1: 満充電後の余剰分は売電します。なお、車両や蓄電池ユニットの充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。

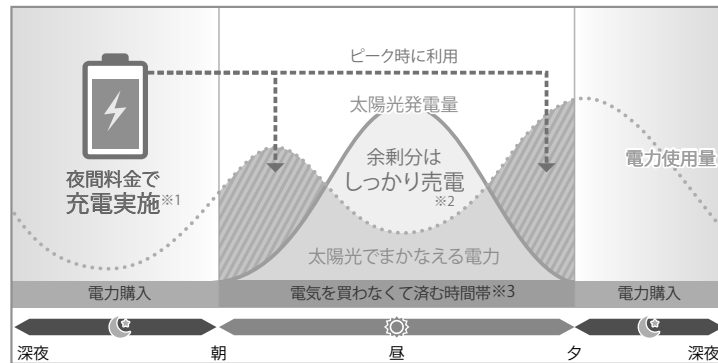
※ 2: ご家庭での電気使用量によって異なります。

- 放電時間帯は、昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、太陽光発電電力に余剰がある場合は、「充電優先設定」(30ページ)に従い、車両もしくは蓄電池ユニットに充電します。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、「放電優先設定」(29ページ)に従い、車両もしくは蓄電池ユニットから放電します。車両や蓄電池ユニットから放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。
- 充電時間帯は、電力会社から買電して、「充電優先設定」(30ページ)に従い、車両もしくは蓄電池ユニットに充電を行います。充電時間帯中に太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。なお、充電時間帯中は車両や蓄電池ユニットから放電しません。
- 太陽光発電電力の余剰分は、車両や蓄電池ユニットが満充電の場合や、充電電力が低下している場合は、充電できずに売電される場合があります。なお、売電中は車両や蓄電池ユニットから放電しません。
- 太陽光発電、車両または蓄電池ユニットから放電中に外部環境や間欠動作をする負荷等の影響によって、200 W程度の買電が発生する場合があります。

売電モード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。電気料金が割安な深夜時間帯に電力会社の電力から充電を行い、車両や蓄電池ユニットからの放電を電気料金が割高な昼間に行うことで、電気料金の節約が可能になります。夜間の電気料金が太陽光の売電価格より安い方にお勧めです。

■ 売電モード



※ 1: 料金は電力会社やプランによって異なります。

※ 2: 売電価格は年度ごとに決まりますので、詳しくは電力会社にお問い合わせください。

※ 3: ご家庭での電気使用量によって異なります。

- 放電時間帯は、昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、「放電優先設定」(29 ページ) に従い、車両もしくは蓄電池ユニットから放電します。車両や蓄電池ユニットから放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。なお、放電時間帯中は車両や蓄電池ユニットへ充電せず、売電中は車両や蓄電池ユニットから放電しません。
- 充電時間帯は、電力会社から買電して、「充電優先設定」(30 ページ) に従い、車両もしくは蓄電池ユニットに充電を行います。充電時間帯中に太陽光発電がある場合は、発電電力を優先的に使用して充電します。なお、充電時間帯中は車両や蓄電池ユニットから放電しません。
- 出力制御などにより抑制機能が働いている場合は、太陽光発電電力の余剰分の一部を車両や蓄電池ユニットに充電することがあります。

蓄電池充電 (蓄電池ユニット併設時のみ設定可能)

太陽光の発電状態や時間帯に関係なく、蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。

詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「蓄電池ユニットの各運転モードについて (連系時)」を参照してください。

車両充電

太陽光の発電状態や時間帯に関係なく、車両へ充電を行うモードです。なお、V2H システムを併設していない場合やコネクタロック解除時のご利用いただけません。

- 太陽光発電電力を優先的に使用して車両への充電を行います。太陽光発電から車両への充電電力が不足する場合は、不足分を電力会社から買電して充電を行います。
- 太陽光発電電力が充電電力を上回っている場合は、家庭内負荷へ電力を供給します。太陽光発電電力が、充電電力と家庭内負荷への電力供給の両方を上回った場合は、余剰分を売電します。なお、車両の充電電力の低下により、太陽光発電の一部が充電できず売電される場合があります。
- 車両が満充電になり次第、充電動作を終了し車両のコネクタロックを自動的に解除してから、車両充電が設定される直前の自動運転モードで動作します。

放電中の動作について

電力会社との取り決めにより、本システムは放電中に常に微量電力を買電します。

メモ

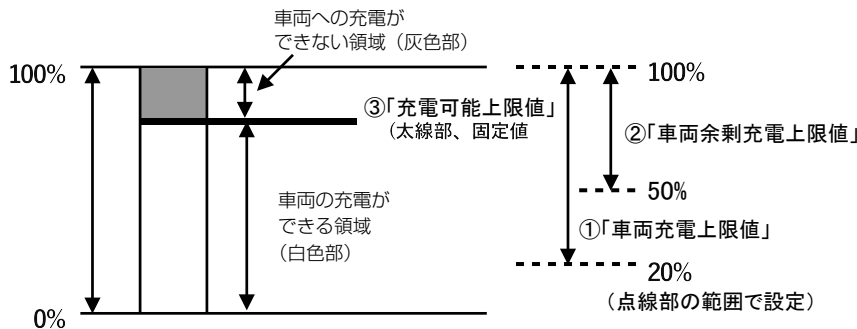
- 太陽光発電システムと異なり、車両や蓄電池ユニットに蓄えた電力を送電線へ逆流させない決まりとなっています。
- 負荷容量が 100 W 未満の場合および負荷容量と太陽光発電量が均等になる場合は、専用アプリや室内リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。
- 発電電力が多く、売電電力が定格出力を超える場合には、車両や蓄電池ユニットが充電できる状態であれば、定格出力を超える電力を、自動的に充電します。
- 太陽光発電、車両または蓄電池ユニットから放電中に外部環境や間欠動作をする負荷等の影響によって、200 W 程度の買電が発生する場合があります。

重要 車両充放電動作時に利用できる車両の充放電範囲について

充電を停止する車両の蓄電池残量について（車両充電上限値・車両余剰充電上限値）

車両は、専用アプリや室内リモコンで設定する①「車両充電上限値」、②「車両余剰充電上限値」、または車両ごとに決められた③「充電可能上限値」に達すると充電を停止します。

- ①専用アプリや室内リモコンで設定する「車両充電上限値」
 - 太陽光発電電力の余剰充電用の空き容量を確保するため、電力会社の電力による充電の上限値
 - お客様にて設定可能（20%～100%まで5%刻み）
 - ②専用アプリや室内リモコンで設定する「車両余剰充電上限値」
 - 太陽光発電電力による余剰充電の上限値
 - お客様にて設定可能（50%～80%まで5%刻み、80%～100%まで1%刻み）
 - ③車両ごとに定められた「充電可能上限値」
 - 車両により定められたそれ以上充電できない車両の蓄電池残量値
 - 車両により定められており、変更不可
 - 車両ごとに定められた「充電可能上限値」はニチコンホームページを参照してください。
<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>
- ①～③のうち、上限値が低い方が優先となります。



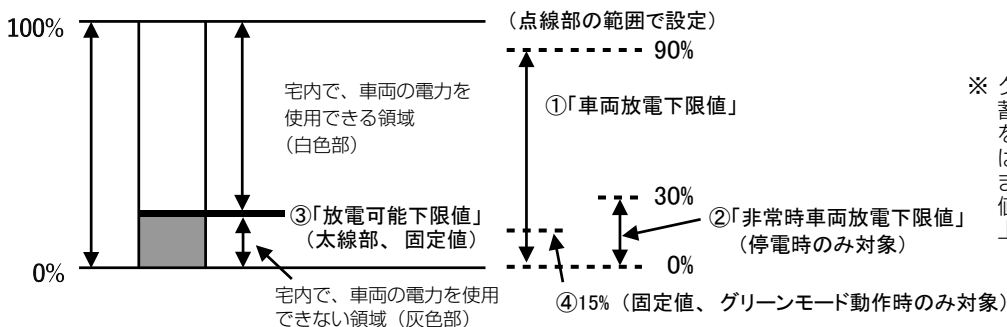
<例>

お客様が i-MiEV をお持ちのとき、専用アプリや室内リモコンで①「車両充電上限値」および②「車両余剰充電上限値」を100%に設定した場合でも、i-MiEV の③「充電可能上限値」95%に達すると充電を停止します。

放電を停止する車両の蓄電池残量について（車両放電下限値・非常時車両放電下限値）

車両は、専用アプリや室内リモコンで設定する①「車両放電下限値」、②「非常時車両放電下限値」（停電時のみ対象）、車両ごとに決められた③「放電可能下限値」、または④「15%」（グリーンモード動作時のみ対象）に達すると放電を停止します。

- ①専用アプリや室内リモコンで設定する「車両放電下限値」
 - 停電発生時または走行に備え残しておく、車両の蓄電池残量値
 - お客様にて設定可能（0%～90%まで5%刻み）
 - ②専用アプリや室内リモコンで設定する「非常時車両放電下限値」（停電時のみ対象）
 - 停電中の走行に備え残しておく、車両の蓄電池残量値
 - お客様にて設定可能（0%～30%まで5%刻み）
 - ③車両ごとに定められた「放電可能下限値」
 - 車両により定められた最低残しておかなければならない車両の蓄電池残量値
 - 車両により定められており、変更不可
 - 車両ごとに定められた「放電可能下限値」はニチコンホームページを参照してください。
<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>
 - ④「15%」（グリーンモード動作時のみ対象）
- ①～④のうち、下限値が高い方が優先となります。



※ グリーンモード動作時に車両の蓄電池残量が「放電可能下限値」を下回った場合、車両によっては余剰充電できないことがあります。その場合、「車両放電下限値」を「放電可能下限値」より上の値に設定してください。

<例>

お客様が i-MiEV をお持ちのとき、専用アプリや室内リモコンで①「車両放電下限値」を10%に設定した場合でも、i-MiEV の③「放電可能下限値」30%に達すると放電を停止します。

V2H システムの運転モードを選ぶ (連系時)

V2H システムの運転モードは、プラグホルダの操作パネル、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。連系時の運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。(21 ページ参照)

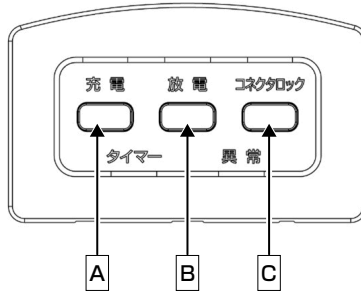
重要

充放電時間帯中は、充放電を行っていない場合でも車両と V2H システム間の通信維持のため、車両の蓄電池が電力を消費します。

プラグホルダの操作パネルで V2H システムの運転モードを選ぶ場合

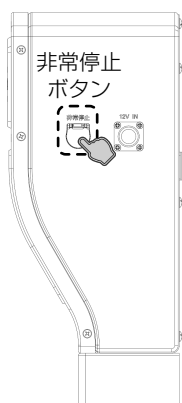
プラグホルダの操作パネルの各ボタンをタッチすると、現在の運転モード状態に応じて運転モードおよび車両状態を変更します。

■操作パネル



	① 現在の運転モード状態		→	② 操作パネルのボタンをタッチ	→	③ 変更後の運転モード状態	
	運転モード	車両状態				運転モード	車両状態
1	グリーンモード	コネクタロック	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
2			→	放電 (B)	→	グリーンモード	コネクタロック解除
3			→	コネクタロック (C)	→	グリーンモード	コネクタロック解除
4		コネクタロック解除	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
5			→	放電 (B)	→	グリーンモード	コネクタロック
6			→	コネクタロック (C)	→	グリーンモード	コネクタロック
7	売電モード	コネクタロック	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
8			→	放電 (B)	→	売電モード	コネクタロック解除
9			→	コネクタロック (C)	→	売電モード	コネクタロック解除
10		コネクタロック解除	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
11			→	放電 (B)	→	売電モード	コネクタロック
12			→	コネクタロック (C)	→	売電モード	コネクタロック
13	蓄電池充電	コネクタロック	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
14			→	放電 (B)	→	蓄電池充電	コネクタロック解除
15			→	コネクタロック (C)	→	蓄電池充電	コネクタロック解除
16		コネクタロック解除	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
17			→	放電 (B)	→	蓄電池充電	コネクタロック
18			→	コネクタロック (C)	→	蓄電池充電	コネクタロック
19	車両充電	コネクタロック	→	充電 (A)	→	最後に指定された自動運転モード	コネクタロック解除
20			→	放電 (B)	→	最後に指定された自動運転モード	コネクタロック解除
21			→	コネクタロック (C)	→	最後に指定された自動運転モード	コネクタロック解除

※ V2H システムを非常停止する場合

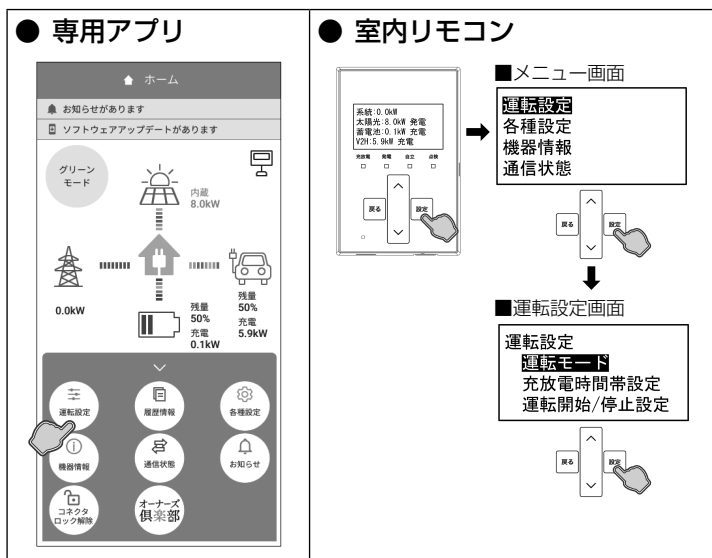


V2H システムに何らかの異常が発生した際は、プラグホルダ緊急時操作部の「非常停止」ボタンカバーを開けて押すことで、コネクタロックを解除し、V2H システムを非常停止させることができます。

非常停止を解除する場合は、異常の原因が解消したことを確認してから、再度「非常停止」ボタンを押してください。なお、非常停止を解除した後もコネクタロックは解除されたままとなりますので、引き続き動作させたい場合は、ご希望の運転モードを再度設定してください。

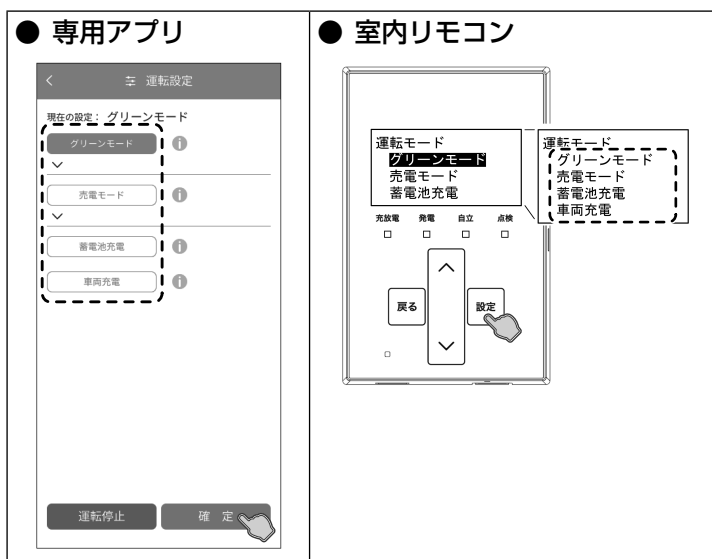
専用アプリ、室内リモコンで V2H システムの運転モードを選ぶ場合

1 「運転設定」をタッチする



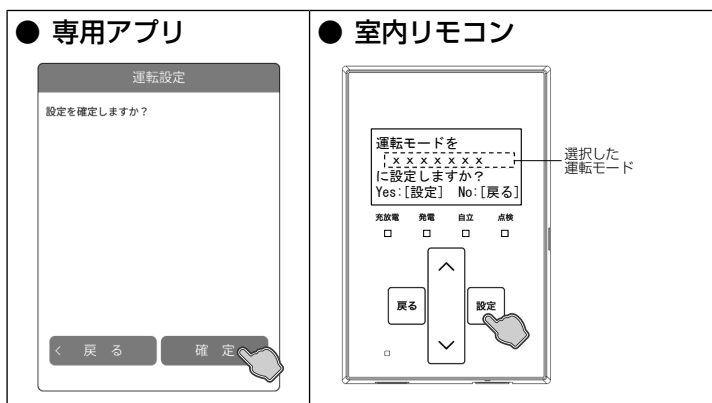
- **専用アプリの場合**
ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。
- **室内リモコンの場合**
「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチ→運転設定画面で「運転モード」を選択し「設定」をタッチ→「運転モード」画面に切り替わります。

2 運転モードを選択して「確定」（室内リモコンは「設定」）をタッチする



- **専用アプリの場合**
V2H システムの運転モード (21 ページ参照) を選択し「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。
- **メモ**
 - 運転モードは表示されるモードのみ選択できます。通常は自動運転モードを選択してください。
 - 運転設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転設定」画面に戻ります。
- **室内リモコンの場合**
V2H システムの運転モード (21 ページ参照) を選択し「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。
- **メモ**
 - 運転モードは表示されるモードのみ選択できます。通常は自動運転モードを選択してください。
 - 「△/▽」をタッチして選択メニューの項目を選択します。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する



- **専用アプリの場合**
「確定」をタッチすると、設定内容を確定して「ホーム」画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。
- **室内リモコンの場合**
「設定」をタッチすると、設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。
- **メモ**
 - 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

V2H システムの充放電時刻を変更する

通常運転時の充電開始 / 停止時刻、放電開始 / 停止時刻を運転モードごとに、専用アプリや室内リモコンで変更できます。

- 製品出荷時の設定時間帯：

	グリーンモード	売電モード
充電開始時刻 / 停止時刻 ^{※1}	01:00 ~ 01:01	01:00 ~ 05:59
放電開始時刻 / 停止時刻 ^{※2}	01:02 ~ 00:50	06:00 ~ 00:50

※ 1: 電力会社から買電して車両または蓄電池ユニットに充電するときの開始時刻 / 停止時刻
(太陽光発電電力で充電する開始時刻 / 停止時刻ではありません。)

※ 2: 車両または蓄電池ユニットから放電するときの開始時刻 / 停止時刻

(運転モードが「グリーンモード」設定かつ太陽光発電がある場合、太陽光発電電力の余剰分は放電時間帯に車両または蓄電池ユニットに充電されます。なお、充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。)

※ 充放電時間帯の合計は 23 時間 50 分以内としてください。

※ 充放電時間帯が重複しないように設定してください。

メモ

- 「放電優先設定」(29 ページ) の設定によっては、設定した時刻に放電が始まらない場合があります。また、太陽光発電電力を売電している場合は、放電時間帯であっても車両および蓄電池ユニットから放電できません。
- 「売電モード」「グリーンモード」は、それぞれ別の時刻を設定できます。
- グリーンモード利用時に充電時間帯を長く設定すると、電力会社の電力による充電が進み、昼間の太陽光発電電力による充電ができなくなる場合があります。電力会社の電力で充電しすぎないように、充電時間を短く設定するか、「車両充電上限値」(29 ページ) の設定をご利用ください。
- 売電モード利用時に充電時間帯を短く設定すると、車両および蓄電池ユニットが 100% まで充電できない場合があります。

1 「運転設定」をタッチする

● 専用アプリ

● 室内リモコン

● 専用アプリの場合

ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチ→運転設定画面で「充放電時間帯設定」を選択し「設定」をタッチ→「充放電時間帯設定」画面に切り替わります。

● メモ

- 「∧ / ∨」をタッチして項目を選択します。

2 設定したい運転モードを選択して充放電時間を入力する

● 専用アプリ

● 室内リモコン

● 専用アプリの場合

設定したい運転モードの「∨」をタッチして充放電時間を設定します。

● 室内リモコンの場合

設定したい運転モードを選択し「設定」をタッチ→選択した運転モードの充放電時間を設定します。

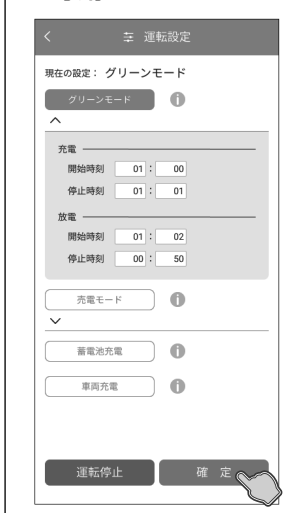
- 「設定」 / 「戻る」をタッチするとカーソルが移動 (① ⇐ ② ⇐ … ⇐ ⑧) します。
- カーソル位置で「∧ / ∨」をタッチすると時間 (時 / 分) の設定値を選択できます。

● メモ

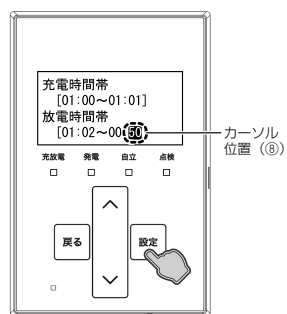
- カーソルの位置は、黒背景・白文字で表します。
- カーソル①の位置で「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、設定内容を確定して「ホーム」画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

✎ メモ

- 充放電時間帯（充電と放電、開始時間と停止時間）が重複している場合や、充電時間と放電時間の合計が23時間50分を超過している場合は、確認画面に切り替わります。「戻る」をタッチして再度設定してください。
- 充放電時間の設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転設定」画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合

カーソル位置⑧で「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

✎ メモ

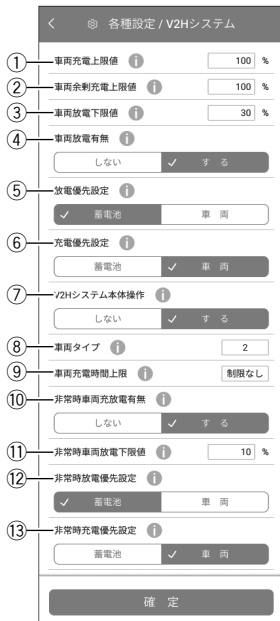
- 充放電時間帯（充電と放電、開始時間と停止時間）が重複している場合や、充電時間と放電時間の合計が23時間50分を超過している場合は、確認画面に切り替わります。「戻る」をタッチして再度設定してください。
- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

V2H システムの各種設定について

V2H システムに関わる各種設定を行います。本設定は、コネクタロック解除状態でも設定できます。また、設定後にコネクタロックを解除しても設定内容は保存されます。

■ 画面例

● 専用アプリ



① 車両充電上限値

電力会社の電力で車両を充電する際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。グリーンモード利用時に太陽光発電の余剰電力をできるだけ多く充電できるように、電力会社の電力で充電する容量を少なくしたい場合などに設定してください。

なお、太陽光発電電力による余剰充電および「車両充電」は本設定の対象外となり、上限値を超えて充電されます。

- 本設定値と、車両ごとに定められた「充電可能上限値」のうち、数値が小さい方が優先となります。(例:「車両充電上限値」が100%、「充電可能上限値」が70%の場合、70%まで充電を行います。)

設定値	20%～100%*(5%刻み)
-----	-----------------

② 車両余剰充電上限値

自動運転モードの車両の余剰充電動作の際に、指定した上限値で余剰充電を停止する設定です。

車種ごとの電池特性や制限に応じて、太陽光発電電力による車両への充電を抑えたい場合などに設定してください。

なお、「車両充電」は本設定の対象外となり、上限値を超えて充電されます。

- 本設定値と、車両ごとに定められた「充電可能上限値」のうち、数値が小さい方が優先となります。(例:「車両余剰充電上限値」が100%、「充電可能上限値」が70%の場合、70%まで充電を行います。)

設定値	50%、55%、60%、65%、70%、75%、80%～100%*(1%刻み)
-----	---

③ 車両放電下限値

車両から放電を行う際に、指定残量までで放電を止めるように制限します。

もしもの停電や、台風、計画停電などの停電発生に備えあらかじめ準備するときは、設定を切り替えることで、安心してお使いいただけます。

なお、設定後から車両の蓄電池残量の制御を開始するため、必要の際は前日までに切り替えてください。

- 本設定値と、車両ごとに定められた「放電可能下限値」のうち、数値が大きい方が優先となります。(例:「車両放電下限値」が30%、「放電可能下限値」が40%の場合、40%まで放電を行います。)

重要

充放電を行っていない場合でも車両とV2Hシステム間の通信維持のため、車両の蓄電池から電力を消費します。それにより、車両の蓄電池残量が車両放電下限値を下回る場合があります。

設定値	0%～90%(30%*)(5%刻み)
-----	--------------------

④ 車両放電有無

車両からの放電を許可するか設定できます。

通常は車両から電力が利用できるように、「する」に設定してください。

設定値	する*	車両からの放電を行います。
	しない	車両からの放電を行いません。

⑤ 放電優先設定^{※1}

自動運転モード動作時の家庭内への電力供給を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

- 「車両放電有無」を「しない」に設定した場合は、本設定は機能しません。

設定値	蓄電池*	蓄電池ユニットから優先して電力を供給します。蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、または専用アプリや室内リモコンで設定した「蓄電池放電下限値」のいずれかに達すると、車両からの放電に切り替わります。
	車両	車両から優先して電力を供給します。車両の蓄電池残量がゼロ、専用アプリや室内リモコンで設定した「車両放電下限値」、または車両ごとに定められた「放電可能下限値」のいずれかに達すると、蓄電池ユニットからの放電に切り替わります。

● 室内リモコン



V2Hシステム	
車両充電上限値	①
車両余剰充電上限値	②
車両放電下限値	③
車両放電有無	④
充電優先設定	⑤
充電優先設定	⑥
V2Hシステム	
本体操作	
車両タイプ	⑧
車両充電時間上限	⑨
非常時車両充電	⑩
有無	
非常時車両放電	⑪
下限値	
非常時放電優先設定	⑫
非常時充電優先設定	⑬

⑥ 充電優先設定^{※1}

自動運転モード動作時の充電を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

設定値	蓄電池	蓄電池ユニットから優先して充電を行います。蓄電池ユニットが満充電、または専用アプリや室内リモコンで設定した「蓄電池充電上限値」のいずれかに達すると、車両への充電に切り替わります。
	車両 [★]	車両から優先して充電を行います。「車両充電上限値」、「車両余剰充電上限値」、または車両ごとに定められた「充電可能上限値」のいずれかに達すると、蓄電池ユニットへの充電に切り替わります。

⑦ V2H システム本体操作

V2H システム本体の操作を有効もしくは無効にする設定です。長期ご不在時など、第三者の無断使用を防止する場合などに便利な機能です。お客様の用途に合わせて設定してください。

設定値	する [★]	V2H システム本体での操作を受け付けます。
	しない	V2H システム本体での操作を受け付けません。

⑧ 車両タイプ

お客様が所有している車両に合わせた保護を行うための設定です。適切な設定をすることで車両の蓄電池への負荷を低減することができますので、必ず設定してください。

- 車両タイプの設定値は、車両ごとに指定する「接続車両設定」の数値を選択してください。詳しくは、ニチコンホームページの対応車種一覧を参照してください。

<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>

重要

メルセデス・ベンツ日本合同会社の車両に接続する場合は、本設定項目を含めた特定の設定が必要となります。詳しくは「メルセデス・ベンツ日本合同会社の車両 (EV/PHEV) に接続する際の注意点」(61 ページ) を参照してください。

設定値	0、1、2 [★] 、3
-----	-----------------------

⑨ 車両充電時間上限

一日の車両充電時間を制限することにより、一日に車両が行う充放電の時間を自動車メーカーから指定されている上限時間以下に抑えるための機能です。本設定時間が短い場合は、車両に十分な充電ができないおそれがありますのでご注意ください。

設定値	0時間、2時間、4時間、8時間、12時間、制限なし [★]
-----	--

⑩ 非常時車両充放電有無^{※2}

停電時に車両の充放電を許可するか設定できます。

重要

「しない」を選択していると、停電時に太陽光発電や蓄電池ユニットなど他の電力供給源から電力が供給できない場合、車両から放電できずハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止します。通常は停電時も車両の電力が利用できるように「する」に設定してください。

設定値	する [★]	停電時に車両の充放電を行います。
	しない	停電時に車両の充放電を行いません。

⑪ 非常時車両放電下限値

停電時に車両から放電を行う際に、指定残量までで放電を止めるように制限します。停電時に車両の蓄電池残量がゼロになって車両が走行できなくなならないように、電力を残すことができます。

- 本設定値と、車両ごとに定められた「放電可能下限値」のうち、数値が大きい方が優先となります。(例:「非常時車両放電下限値」が30%、「放電可能下限値」が40%の場合、40%まで放電を行います。)

設定値	0%～30%(10% [★]) (5%刻み)
-----	----------------------------------

⑫ **非常時放電優先設定**^{※1}

停電時の家庭内への電力供給を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

- 「非常時車両充放電有無」を「しない」に設定した場合は、本設定は機能しません。

設定値	蓄電池★	蓄電池ユニットから優先して電力を供給します。蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロになると、車両からの放電に切り替わります。
	車両	車両から優先して電力を供給します。車両の蓄電池残量がゼロ、専用アプリや室内リモコンで設定した「非常時車両放電下限値」、または車両ごとに定められた「放電可能下限値」に達すると、蓄電池ユニットからの放電に切り替わります。

⑬ **非常時充電優先設定**^{※1}

停電時の充電を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

- 「非常時車両充放電有無」を「しない」に設定した場合は、本設定は機能しません。

設定値	蓄電池	蓄電池ユニットを優先して充電を行います。蓄電池ユニットの蓄電池残量が100%になると、車両への充電に切り替わります。
	車両★	車両を優先して充電を行います。車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「充電可能上限値」に達すると、蓄電池ユニットへの充電に切り替わります。

★：製品出荷時の設定値

※1：蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定することができます。

※2：停電時に自動的に放電を行いたい場合は、以下の設定が必要です。

① V2H システム各種設定の「非常時車両充放電有無」を「する」で設定する。(30 ページ)

② 機器情報 / 設定情報の「停電時出力」を「自動」で設定する。

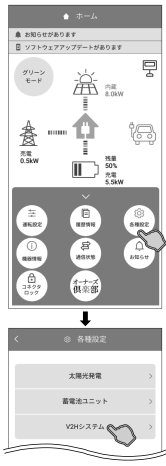
(詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「機器情報について」を参照してください。)

V2H システムの各種設定を設定する

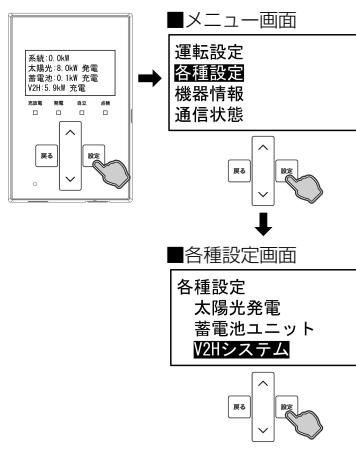
V2H システムの各種設定は、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。

1 「各種設定」 → 「V2H システム」 をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「各種設定」をタッチ→「V2H システム」をタッチ→「各種設定 / V2H システム」画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合

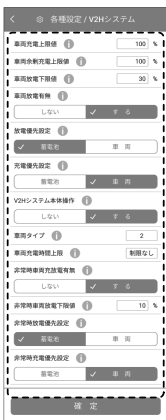
「設定」をタッチ→メニュー画面で「各種設定」を選択し「設定」をタッチ→各種設定画面で「V2H システム」を選択し「設定」をタッチ→「V2H システム」画面に切り替わります。

メモ

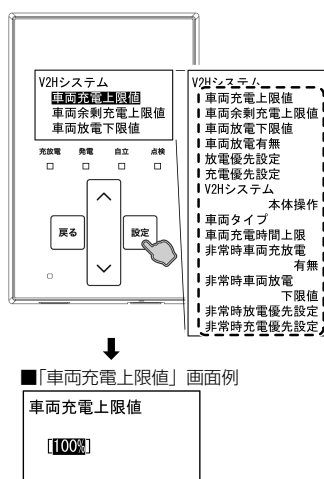
- 「上 / 下」をタッチすると選択メニューをスクロール表示して選択できます。
- 「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

2 V2H システムの各種設定を変更する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

各項目をタッチして設定値 (29 ページ参照) を変更します。

メモ

- V2H システムの設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「各種設定 / V2H システム」画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合

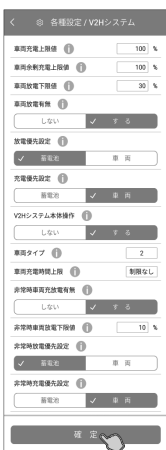
各項目を選択して「設定」をタッチすると、各項目の設定画面に切り替わります。「上 / 下」をタッチして各項目の設定値 (29 ページ参照) を選択します。

メモ

- 「上 / 下」をタッチすると選択メニューや各項目の設定値を表示して選択できます。
- 「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 設定内容を確定する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、設定内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、設定内容を確定して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、設定を確定せずに前画面に戻ります。

メモ

- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

蓄電池ユニットの各種設定について【蓄電池ユニット併設時のみ】

蓄電池ユニットに関わる各種設定を行います。

設定方法については、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「蓄電池ユニットの各種設定を設定する」を参照してください。

■ 画面例

● 専用アプリ



① 蓄電池充電上限値

電力会社の電力で蓄電池ユニットを充電する際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。

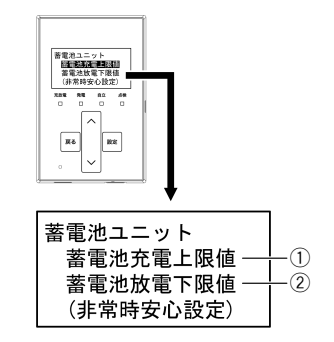
詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「蓄電池ユニットの各種設定について」をご参照ください。

② 蓄電池放電下限値 (非常時安心設定)

停電が発生しても、蓄電池ユニットから電気が使えるよう設定した割合の蓄電池残量を常に残しておく設定です。

詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「蓄電池ユニットの各種設定について」をご参照ください。

● 室内リモコン



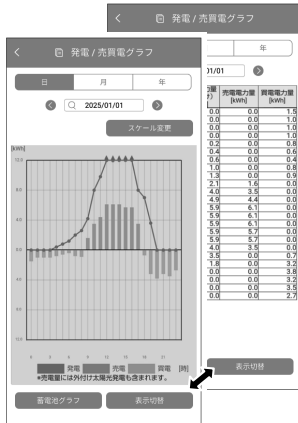
各グラフについて【専用アプリのみ】

「発電 / 売買電グラフ」、「蓄電池充放電グラフ」、「車両充放電グラフ」を切り替えて表示できます。

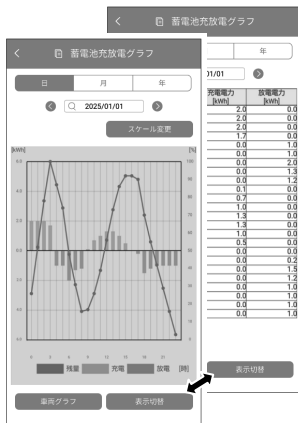
メモ

- 本システムの設置時から現在までの過去最大 10 年間相当のグラフを表示し、10 年を超えると古い日付のデータから削除されます。
- グラフおよび表示量は目安です。測定条件などの違いにより、他の機器 (HEMS など) と異なる場合があります。
- 室内リモコンの電源を切っている間のデータは、データが保存されないため表示できません。
- 日時設定を変更したときは、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。HEMS や NTP との時刻同期により日時設定が変更されたときも同様です。
- パワーコンディショナもしくは室内リモコンの修理・交換を行った場合、各グラフのデータがリセットされる場合があります。
- 室内リモコンでは、グラフ情報は確認できません。

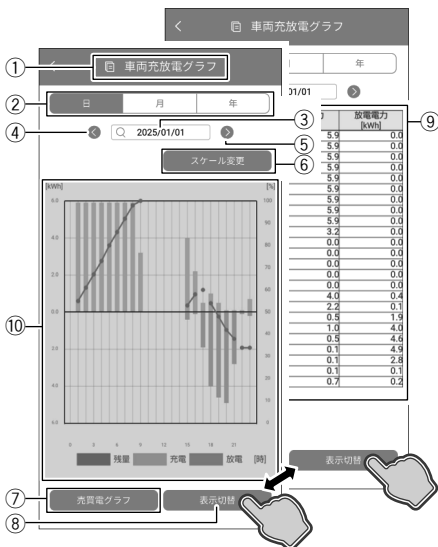
■ 発電 / 売買電グラフ・数値例



■ 蓄電池充放電グラフ・数値例



■ 車両充放電グラフ・数値例



● 発電 / 売買電グラフ・数値※²

太陽光の発電電力量 (kWh) および売電電力量 (kWh)、買電電力量 (kWh) を表示します。太陽光発電パネルを併設していない場合も表示します。

● 蓄電池充放電グラフ・数値※²

蓄電池ユニットの充電電力量 (kWh) および放電電力量 (kWh)、蓄電池残量 (%) を表示します。蓄電池ユニットを併設していない場合は表示しません。

● 車両充放電グラフ・数値

車両の充電電力量 (kWh) および放電電力量 (kWh)、車両蓄電池残量 (%) を表示します。V2H システムを併設していない場合は表示しません。

① グラフ名称

表示しているグラフの名称を表示します。

② 表示期間切替

日 / 月 / 年をタッチすると、日別 / 月別 / 年別に表示期間が切り替わります。

③ 年月日

現在表示しているグラフの日付を表示します。タッチするとカレンダーから表示する日付を選択することができます。

④ 前へ / ⑤ 次へ

前日 / 翌日、前月 / 翌月、前年 / 翌年を表示します。

⑥ スケール変更

タッチすることで表示スケールを変更して表示します。

	車両充放電グラフ
日別	6 kWh / 12 kWh
月別	12 kWh / 24 kWh / 48 kWh
年別	300 kWh / 600 kWh / 1200 kWh

⑦ グラフ切替※¹

次に表示されるグラフ名を一部省略 (車両グラフ: 車両充放電グラフ、売買電グラフ: 発電 / 売買電グラフ、蓄電池グラフ: 蓄電池充放電グラフ) して表示します。タッチするとグラフ種類を変更して表示します。

⑧ 表示切替

タッチするとグラフ ⇄ 数値で表示が切り替わります。

⑨ 数値表示

各グラフの内容を数値で表示します。

⑩ 電力量 [kWh] / 残量 [%] (車両充放電グラフ)

電力量を表示します。

充電電力量	棒グラフ (橙色) で上側に棒の長さで表示
放電電力量	棒グラフ (緑色) で下側に棒の長さで表示
残量	折れ線グラフ (青色) で表示

※ 1: 併設している機器構成により画面構成が異なります。

※ 2: 詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「各グラフについて【専用アプリのみ】」をご参照ください。

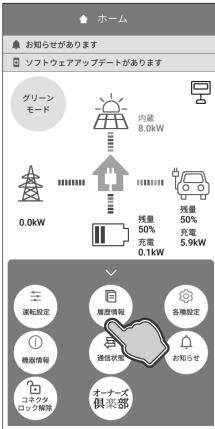
グラフを表示する【専用アプリのみ】

グラフ各種は、専用アプリに表示することができます。室内リモコンには表示できません。

1 「履歴情報」をタッチする

● 専用アプリ

ドロワーメニューの「履歴情報」をタッチ→「履歴情報」画面に切り替わります。



2 グラフを選択する

● 専用アプリ

日付検索画面で日付を確定すると、選択したグラフ画面に切り替わります。



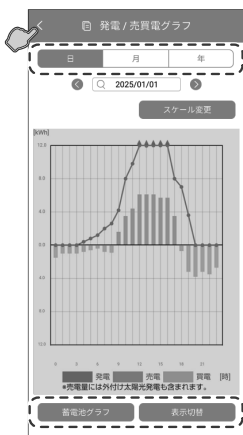
✎ メモ

- 「履歴情報」画面はスクロールしてメニューを表示選択してください。
- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池充放電グラフ」は選択できません。
- 各グラフは、「履歴情報」画面のグラフボタンもしくは各グラフ画面の「グラフ切替」をタッチすると表示されます。
- 次の場合は、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。
 - 日時設定を変更したとき
 - パワーコンディショナもしくは室内リモコンを修理交換したとき
- 表示するデータが無い場合は「表示できるデータがありません」と表示します。

3 グラフを確認する

● 専用アプリ

- 「発電 / 売電グラフ」画面例



- 「日」「月」「年」をタッチすると、表示期間を日間、月間、年間表示に切り替えます。
 - 画面下部に「車両グラフ」ボタン^{*1}、「蓄電池グラフ」ボタン^{*1}、「売電グラフ」ボタン^{*1}が表示される場合、各ボタンをタッチすると、「車両充放電グラフ」、「蓄電池充放電グラフ」、「発電 / 売電グラフ」に切り替わります。
 - 「表示切替」をタッチすると、グラフ表示⇔数値表示を切り替えます。
 - ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、「履歴情報」画面に戻ります。
- ※ 1: 設置環境によって表示されるボタンが異なります。蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池グラフ」ボタンは表示されません。

✎ メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池充放電グラフ」は表示されません。
- 各グラフは、「履歴情報」画面のグラフボタンもしくは各グラフ画面のグラフ切替をタッチすると表示されます。
- 「スケール変更」をタッチすると電力量の縦目盛りの表示を変更します。

4 「ホーム」画面に戻る

● 専用アプリ

ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。



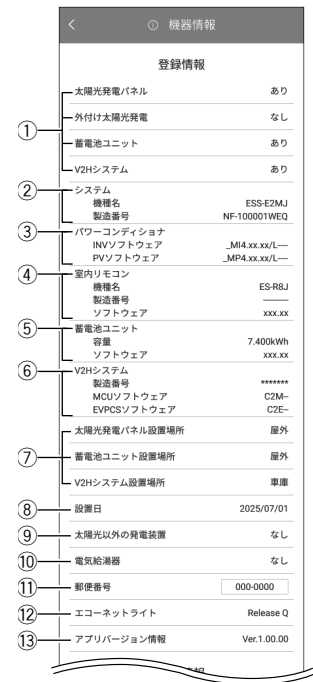
機器情報について

機器情報は、「登録情報」「設定情報^{※1}」を表示します。画面はスクロール表示してください。
機器情報の確認方法については、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「機器情報を確認する」を参照してください。

※1: パワーコンディショナ同梱のパワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「機器情報について」の「設定情報」を参照してください。

■「機器情報」画面例

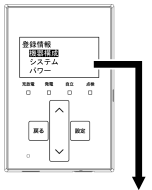
● 専用アプリ



機器情報の「登録情報」を表示します。

- ① 機器構成 (太陽光発電パネル/外付け太陽光発電/蓄電池ユニット/V2Hシステム) あり/なし
- ② システム 機種名 / 製造番号
システム 機種名 : ES-E2J/ESS-E2MJ/ESS-E2XJ
システム 製造番号 : パワーコンディショナ製造番号
- ③ パワーコンディショナ ソフトウェア
パワーコンディショナ INV ソフトウェア : バージョン番号
パワーコンディショナ PV ソフトウェア : バージョン番号
- ④ 室内リモコン 機種名 / 製造番号 / ソフトウェア
室内リモコン 機種名 : ES-R8J
室内リモコン 製造番号 : 室内リモコン製造番号
室内リモコン ソフトウェア : バージョン番号
- ⑤ 蓄電池ユニット^{※2} 容量 / ソフトウェア
蓄電池ユニット 容量 : 7.4 kWh / 14.9 kWh
蓄電池ユニット ソフトウェア : バージョン番号
- ⑥ V2Hシステム 製造番号 / MCU ソフトウェア / EVPCS ソフトウェア
V2Hシステム 製造番号 : V2Hシステム製造番号
MCU ソフトウェア : バージョン番号
EVPCS ソフトウェア : バージョン番号
- ⑦ 機器設置場所 (太陽光発電パネル設置場所 / 蓄電池ユニット設置場所 / V2Hシステム設置場所)
太陽光発電パネル設置場所 : 屋外 / その他
蓄電池ユニット設置場所 : 屋内 / 屋外 / なし
V2Hシステム設置場所 : 車庫 / その他 / なし
- ⑧ 設置日
本システムを設置した日
- ⑨ 太陽光以外の発電装置 あり/なし
- ⑩ 電気給湯器 あり/なし
- ⑪ 郵便番号
本システムを設置しているご住所の郵便番号
• 郵便番号を設定すると異常が発生した際に、原因の特定につながる場合がありますので正しく入力してください。
- ⑫ エコーネットライト バージョン番号
- ⑬ アプリバージョン情報【専用アプリのみ】 バージョン番号

● 室内リモコン



登録情報	
機器構成	①
システム	②
パワー コンディショナ	③
室内リモコン	④
蓄電池ユニット	⑤
V2Hシステム	⑥
機器設置場所	⑦
設置日	⑧
太陽光以外の 発電装置	⑨
電気給湯器	⑩
郵便番号	⑪
エコーネットライト	⑫

※2: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。

停電時の使い方（自立運転）

停電が発生した際は、本製品は停電時の運転に自動で切り替わります。
 停電運転中に車両との接続（コネクタロック）をする場合、V2Hシステムから電気の供給が開始するまで30秒程度かかります。太陽光発電や蓄電池ユニットなどの電力供給源から電力が供給できない場合、その間家電製品は使用できませんのでご注意ください。

重要

停電発生時の状況によっては、停電時の運転に自動で切り替わらない場合があります。
 その際は「停電時に車両を利用した起動方法」（40ページ）を参照して停電時運転を開始してください。

■ 停電時ホーム画面例

● 専用アプリ

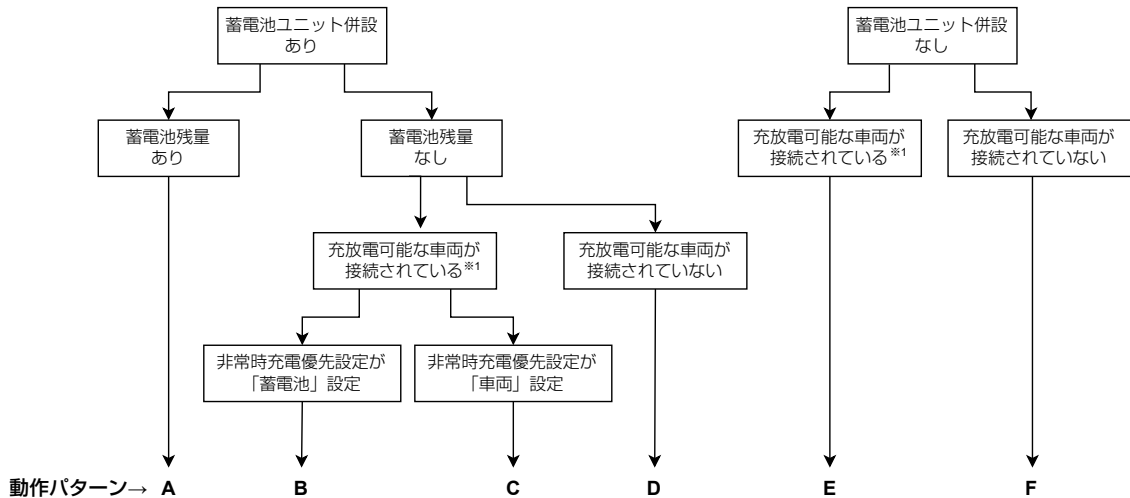
● 室内リモコン

V2Hシステムの各運転モードについて（停電時）

自動給電切替設定

太陽光、蓄電池、車両の状況や、優先設定等に応じて、自動的に動作パターンを切り替えて家電製品への給電および蓄電池ユニット・車両の充放電を行います。

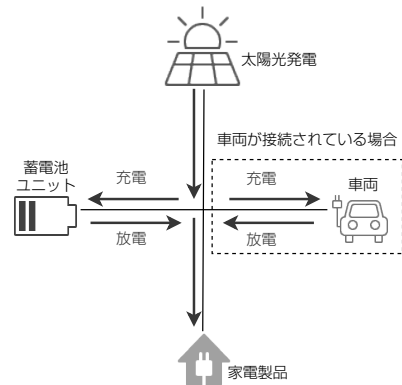
停電時運転の動作パターン



※ 1: コネクタロック状態を意味します。

動作パターン A

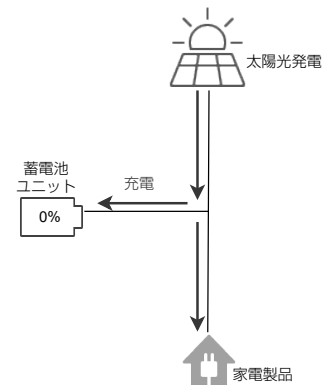
- ・太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を非常時充電優先設定に従って、蓄電池ユニットもしくは車両に充電します。
- ・太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、不足分を非常時放電優先設定に従って、蓄電池ユニットもしくは車両から給電します。



- ※ ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムの状態によっては、車両が給電を開始するまで30秒程度かかる場合があります。
- ※ 非常時放電優先設定を「蓄電池」に設定していても、太陽光の発電量や家庭内負荷の使用状況によっては、車両からの供給を優先する場合があります。

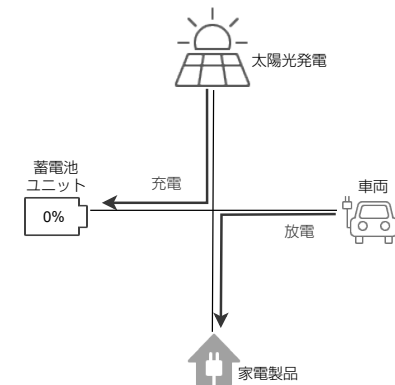
動作パターン D

- ・太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を蓄電池ユニットに充電します。
- ・蓄電池ユニットの残量が10%未満の場合は、蓄電池ユニットから給電することはできません。残量が10%以上になると、蓄電池ユニットから給電できるようになります。



動作パターン B

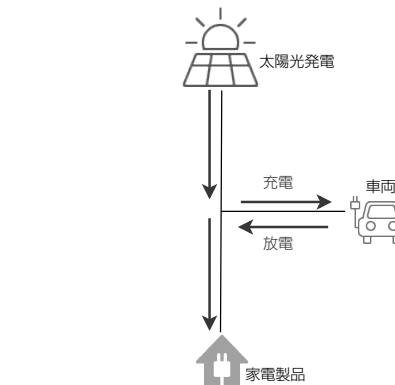
- ・車両から家電製品に給電し、太陽光発電電力は蓄電池ユニットの充電に充てられます。
- ・蓄電池ユニットの残量が10%未満の場合は、蓄電池ユニットから給電することはできません。残量が10%以上になると、蓄電池ユニットから給電できるようになります。



- ※ V2Hシステムの状態によっては、車両が給電を開始するまで30秒程度かかる場合があります。

動作パターン E

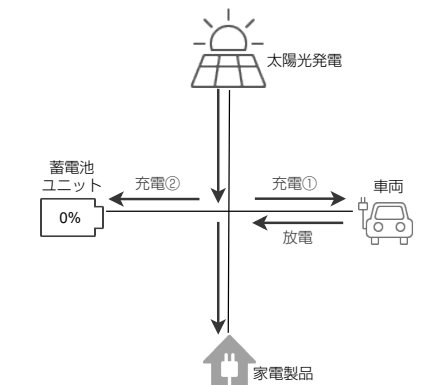
- ・太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を車両に充電します。
- ・太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、不足分を車両から給電します。



- ※ V2Hシステムの状態によっては、車両が給電を開始するまで30秒程度かかる場合があります。
- ※ 蓄電池ユニットを併設していない場合、「非常時車両充電有無」が「しない」に設定されていた場合は、車両のコネクタが解除されるため、この動作パターンはありません。

動作パターン C

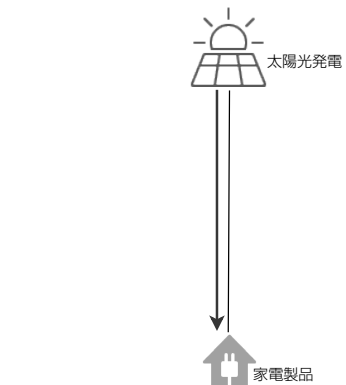
- ・太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を車両に充電します①。また、車両が満充電の場合は、余剰電力を蓄電池ユニットに充電します②。
- ・太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、不足分を車両から給電します。
- ・蓄電池ユニットの残量が10%未満の場合は、蓄電池ユニットから給電することはできません。残量が10%以上になると、蓄電池ユニットから給電できるようになります。



- ※ V2Hシステムの状態によっては、車両が給電を開始するまで30秒程度かかる場合があります。

動作パターン F

- ・太陽光発電電力を家電製品に給電します。



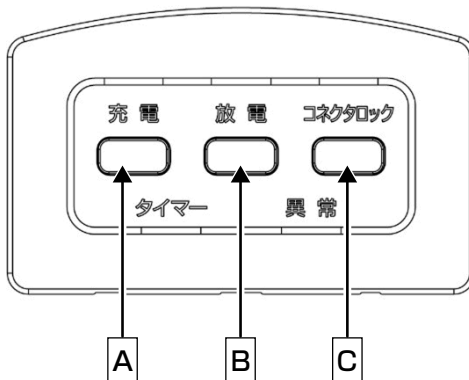
メモ

- ・V2Hシステムの「非常時車両充電有無」が「しない」に設定されていた場合は、車両からは充電しません。(30 ページ)
- ・V2Hシステムの起動から30分程度経過していないときは、自動で自立運転を開始できません。そのときは「停電時に車両を利用した起動方法」(40 ページ)を参照して停電時運転を開始してください。

停電時にプラグホルダの操作パネルを操作した場合

V2Hシステムのプラグホルダ側操作パネルのいずれかのボタンをタッチすると、車両状態が変更されます。

■操作パネル



	① 現在の運転モード状態		→	② 操作パネルのボタンをタッチ	→	③ 変更後の運転モード状態	
	運転モード	車両状態				運転モード	車両状態
1	自動給電 切換設定	コネクタロック	→	充電 (A)	→	自動給電切換設定	コネクタロック解除
2			→	放電 (B)	→		コネクタロック解除
3			→	コネクタロック (C)	→		コネクタロック解除
4		コネクタロック 解除	→	充電 (A)	→		コネクタロック
5			→	放電 (B)	→		コネクタロック
6			→	コネクタロック (C)	→		コネクタロック

停電時に車両を利用した起動方法

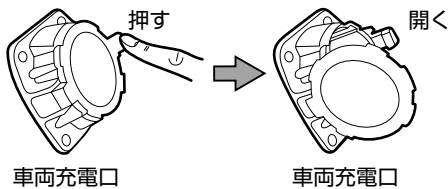
※車種によっては記載内容と異なる操作が必要となる場合があります。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
停電時、太陽光発電電力が無い状態で、車両がコネクタロックしていないとき、またはコネクタロックしているがV2Hシステムが起動してから30分程度経過していないとき、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止します。(蓄電池ユニットを併設している場合は、その後も蓄電池ユニットの電力で動作を維持しますが、残量が無くなるとハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止します。)
ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止すると、室内リモコンおよび専用アプリは使用できません。
車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」よりも残っている場合は、充放電コネクタを車両に接続し下記の操作を行って本システムを起動してください。

重要

車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回っている場合は、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムを起動できません。ただし、太陽光発電電力が発生するとハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムを起動することができますので、車両を動作させたい場合は、再度コネクタロック操作をしてください。(17 ページ)
なお、下記の操作により起動させた場合でも、車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回った場合は、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止します。

車両の電源ソケットを利用した起動方法

1 車両を準備する



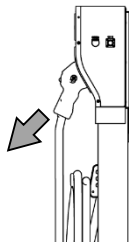
V2Hシステムと接続するために以下①～④に従って、車両側の準備をしてください。

- ①車両のシフトレバーをP(パーキング)位置にする。
- ②車両のメーターパネルをOFFの状態にする。
- ③パーキングブレーキをかける。
- ④車両の充電口を開く。

メモ

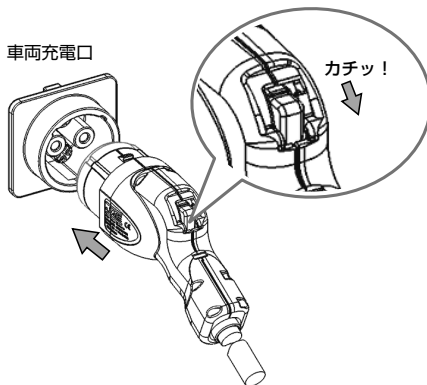
- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

2 コネクタホルダから充放電コネクタを取り外す



充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

3 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタロックできません。
- 充放電コネクタ接続中は、車両を移動しないでください。車両の充電口や充放電コネクタが破損する可能性があります。

4 車両の電源ソケットに付属品の 12V 電源ケーブルを接続し、車両の ACC(アクセサリ) を ON にする

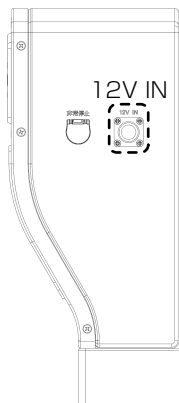


車両のドアは閉じた状態にし、窓から 12V 電源ケーブルを外に出してください。

メモ

- 電源ソケット位置および接続については、車両の取扱説明書を確認してください。

5 プラグホルダ右側面の 12V IN に 12V 電源ケーブルを接続する

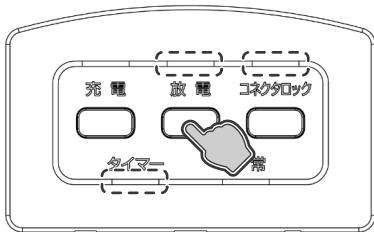


- ① 「12V IN」 のふたを外す。
- ② 12V 電源ケーブルを「12V IN」 に接続する。
- ③ 12V 電源ケーブルを接続すると、「充電」 LED、「放電」 LED、「コネクタロック」 LED、「タイマー」 LED が点滅します。消灯するまでしばらくお待ちください。

メモ

- ふたは、左に回して手前に引くと取り外せます。使用時以外は常時ふたを付けておいてください。

6 V2H システムを起動する



操作パネルの「放電」 ボタンをタッチすると、V2H システムが起動し、コネクタロックを行います。
コネクタロックが完了すると、自立運転が開始され「コネクタロック」 LED、「タイマー」 LED が点灯します。
また、車両から放電が開始されると「放電」 LED が点灯しますので、車両が放電状態であることを確認してください。

メモ

- 自立運転の電力供給開始に 30 秒程度の時間がかかります。
- 車両の ACC (アクセサリ) を ON にしても、放電が始まらない場合があります。その場合は ON にしてから約 1 分間経過したあとに、再度操作してください。約 1 分間経過しても放電が始まらない場合は、車両の ACC (アクセサリ) が ON になっているか再度確認してください。

7 車両の ACC(アクセサリ) を OFF にする

車両のパワースイッチを OFF にします。

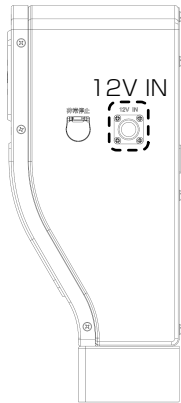
重要

車両の消費電力が多くなり、車両の蓄電池が早く消費されてしまうため、放電確認後、車両の ACC(アクセサリ) を必ず「OFF」にしてください。

メモ

- 車両によっては ACC(アクセサリ) を OFF すると自立運転が停止する場合があります。その時は ACC(アクセサリ) を ON のままにしてください。詳しくは車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

8 12V 電源ケーブルを取り外す



車両から放電状態を確認した後、12V 電源ケーブルを取り外してください。

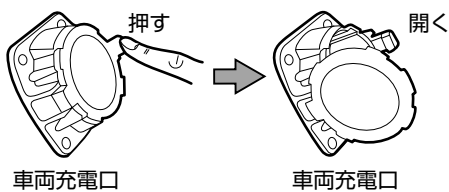
- **車両側**
車両の電源ソケットから 12V 電源ケーブルを取り外します。
- **V2H システム側**
プラグホルダ右側面の 12V IN から 12V 電源ケーブルを取り外し、ふたを取り付けます。

メモ

- 本操作で起動できない車種は、充放電コネクタを利用した方法で起動してください。(42 ページ)
- 電源ソケット位置および取り外し方については、車両の取扱説明書を確認してください。

充放電コネクタを利用した起動方法

1 車両を準備する



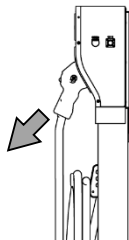
V2H システムと接続するために以下①～④に従って、車両側の準備をしてください。

- ① 車両のシフトレバーを P (パーキング) 位置にする。
- ② 車両のメーターパネルを OFF の状態にする。
- ③ パーキングブレーキをかける。
- ④ 車両の充電口を開く。

メモ

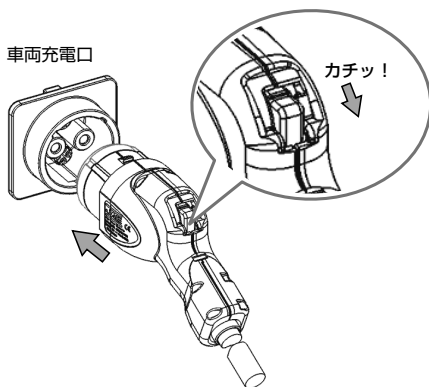
- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

2 コネクタホルダから充放電コネクタを取り外す



充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

3 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタロックできません。
- 充放電コネクタ接続中は、車両を移動しないでください。車両の充電口や充放電コネクタが破損する可能性があります。

4 車両の ACC(アクセサリ) を ON にする

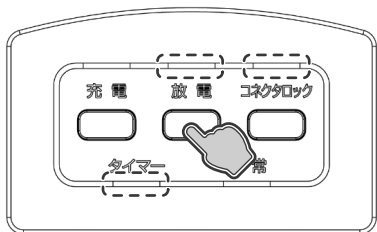
車両の ACC(アクセサリ) を ON にしたあと、「充電」LED、「放電」LED、「コネクタロック」LED、「タイマー」LED が点滅します。消灯するまでしばらくお待ちください。



メモ

- 車種によっては専用のボタンでの操作となる場合があります。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。

5 V2H システムを起動する



操作パネルの「放電」ボタンをタッチすると、V2H システムが起動し、コネクタロックを行います。コネクタロックが完了すると、自立運転が開始され「コネクタロック」LED、「タイマー」LED が点灯します。また、車両から放電が開始されると「放電」LED が点灯しますので、車両が放電状態であることを確認してください。



メモ

- 自立運転の電力供給開始に 30 秒程度の時間がかかります。
- 車両の ACC (アクセサリ) を ON にしても、放電が始まらない場合があります。その場合は ON にしてから約 1 分間経過したあとに、再度操作してください。約 1 分間経過しても放電が始まらない場合は、車両の ACC (アクセサリ) が ON になっているか再度確認してください。

6 車両の ACC(アクセサリ) を OFF にする

車両のパワースイッチを OFF にします。

重要

車両の消費電力が多くなり、車両の蓄電池が早く消費されてしまうため、放電確認後、車両の ACC(アクセサリ) を必ず「OFF」にしてください。



メモ

- 本操作で起動できない車種は、車両の電源ソケットを利用した方法で起動してください。(40 ページ)
- 車両によっては ACC(アクセサリ) を OFF すると自立運転が停止する場合があります。その時は ACC(アクセサリ) を ON のままにしてください。詳しくは車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

停電時に自動で家電製品をご利用になりたい場合

下記の設定を行うことで、停電時に自動的に放電を行います。

- V2H システム各種設定の「非常時車両充放電有無」を「する」で設定する。(30 ページ)
- 機器情報 / 設定情報の「停電時出力」を「自動」で設定する。
(詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「機器情報について」を参照してください。)



メモ

- 停電時に安全を確認してから家電製品をご利用になりたい場合は、「停電発生時の動作を変更したい場合」(48 ページ) を参照してください。

復電時の操作

- 停電後、復電した際の特別な操作は必要ありません。
- 復電後、本システムは約 5 分後に起動し、その後停電前に設定されていた自動運転モードで動作します。

こんなときは

ブザー音や異音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ピッ音	室内リモコンをボタン操作するときの操作音です。
ピッピッピッピッ音	点検コードが発生したときに発生する室内リモコンのブザー音です。
ピッピッ音	
ジージー音	製品内部の回路が動作するときが発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャン音	製品内部の機械部分が動作するときが発生する音です。(運転開始時と停止時に発生します)
ブーン音	
カチャカチャ音	自動開閉器の内部スイッチが切り替わる時に発生する音です。(停電/復電時に発生します)

メモ

- 聴覚感覚が高い方にとって、運転時の高周波音は不快に感じる場合がありますが異常ではありません。
- 室内リモコンのブザー音(ピッピッピッピッ音またはピッピッ音)が鳴ったときは、画面に表示されたメッセージおよび「点検コード(BExxx、BFxxx、Blxxx)が表示されたとき」(55ページ)の処置に従ってください。

動作がおかしいと感じたとき

ブレーカが頻繁に落ちる場合

お買い上げの販売会社へご連絡ください。

契約電力を変更する場合

契約容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

停電時に家電製品が使用できない場合

- ブレーカが落ちていないか確認してください。ブレーカが落ちている場合は、ブレーカを上げてください。
- 室内リモコンもしくは専用アプリに点検コードが表示されている場合は、メッセージおよび「点検コード(BExxx、BFxxx、Blxxx)が表示されたとき」(55ページ)の処置に従ってください。
- 「停電時に車両の蓄電池残量が下限値を下回った場合」(46ページ)を参照してください。太陽光発電が無く、車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」以下の場合および蓄電池ユニットの残量がゼロの場合は、本製品を利用することはできません。
- 上記要因でない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

- 室内リモコンの電源スイッチ(スライドスイッチ)がOFFの場合は、室内リモコンの画面は表示されません。
- 停電時、太陽光発電がなく、蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、および車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回った場合は、室内リモコンの画面は表示されません。「停電時に車両の蓄電池残量が下限値を下回った場合」(46ページ)の処置を行っても室内リモコンの画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

100%まで充電できない場合

- 充電時間帯に他の家電製品(電気温水器、床暖房など)を多く使っている場合、電力契約によっては、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどについて、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- 充電時間が短い場合、100%まで充電できない場合があります。「V2Hシステムの充放電時刻を変更する」(27ページ)を参照してください。
- 車両充電上限値や車両余剰充電上限値が設定されている場合は、設定されている値までしか充電できません。「V2Hシステムの各種設定について」(29ページ)の「車両充電上限値」もしくは「車両余剰充電上限値」を確認してください。
- 車両によっては車両ごとに定められた「充電可能上限値」により、充電上限値が強制的に制限されることがあります。詳しくは、ニチコンホームページを参照してください。
(<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>)
- 日頃グリーンモードによる太陽光発電の余剰電力充電をご利用になっている場合、天候によっては余剰電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。

太陽光発電電力で充電できない場合

- 雨天・曇天時は十分な発電電力が確保できず、充電ができない場合があります。
- 車両の蓄電池残量が 100% だった場合、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。
- 売電モードで動作中の場合は、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。充電したい場合には、運転モードをグリーンモードに設定してください。
- グリーンモードもしくは売電モード動作中に充放電時間帯以外の時間帯となった場合は、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。
- 車両の充電電力の低下により、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電できずに売電される場合があります。
- 「PV 余剰電力売電設定」が「売電しない」に設定されていた場合、車両への余剰充電を行いません。本設定を変更したい場合は販売会社にご連絡ください。

夏季に充放電・発電動作が停止した場合

気温の上昇や日射により、パワーコンディショナ、V2H システムあるいは蓄電池ユニットが高温になった場合に一時的にハイブリッド蓄電システムもしくは V2H システムを停止する場合があります。機器の温度が下がると自動で充放電・発電動作を再開します。

車両が充放電できない場合

- 車両の蓄電池残量が、専用アプリや室内リモコンで設定する「車両放電下限値」または車両ごとに定められた「放電可能下限値」以下のときは放電ができません。
※専用アプリや室内リモコンで設定する「車両放電下限値」を下げることで放電できる場合があります。
- 車両の蓄電池残量が、専用アプリや室内リモコンで設定する「車両充電上限値」または車両ごとに定められた「充電可能上限値」以上のときは電力会社の電力による充電ができません。
※専用アプリや室内リモコンで設定する「車両充電上限値」を上げることで充電できる場合があります。
- コネクタロック状態になっていない場合は充放電できません。コネクタロックを行ってください。
- ブラグホルダの「非常停止」ボタン(13 ページ)が押され、V2H システムが非常停止している場合があります。お知らせリストに点検コード「BI730」もしくは「BI845」が表示されていないか確認してください。表示されていた場合は、V2H システムに異常がないことを確認してから再度「非常停止」ボタンを押して、非常停止を解除してください。
- 蓄電池ユニットを併設しているかつ、充電や放電の優先設定が「蓄電池」になっている場合、蓄電池ユニットを優先的に利用します。「V2H システム設定」画面の下記項目について、お客様のご利用状況に合わせて設定してください。
 - 「放電優先設定」
 - 「充電優先設定」
 - 「非常時放電優先設定」
 - 「非常時充電優先設定」
- 太陽光発電が売電中の場合、車両から放電することはできません。

蓄電池ユニットが充放電できない場合（蓄電池ユニット併設時）

- 蓄電池ユニットの充電上限値および放電下限値が設定されている場合は、設定されている値までしか充電および放電ができません。パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「蓄電池ユニットの各種設定について」を参照してください。
- V2H システムを併設しているかつ、充電や放電の優先設定が「車両」になっている場合、車両を優先的に利用します。「V2H システム設定」画面の下記項目について、お客様のご利用状況に合わせて設定してください。
 - 「放電優先設定」
 - 「充電優先設定」
 - 「非常時放電優先設定」
 - 「非常時充電優先設定」
- 太陽光発電が売電中の場合、蓄電池ユニットから放電することはできません。

充放電の動作切り替え時に数秒時間がかかる場合

車両によっては、操作を行ってから動作が切り替わるまでに数秒かかる場合があります。その場合は、動作が切り替わるまでお待ちください。

定格で充電できない場合

- 車両の蓄電池残量（電圧）によっては、定格で充電できない場合があります。また、太陽光の余剰電力を充電しているときに定格充電できない場合は、売電を行います。
- 本製品に接続している家電製品の消費電力が多いと、定格で充電できない場合があります。

コネクタロック・解除を繰り返す場合

三菱自動車工業製 i-MiEV シリーズの場合、お使いいただいている家電製品の合計が約 200 W 以下の状態が約 15 分経過すると、車両側で放電を停止することがあります。

車両が満充電後、すぐに放電できない場合

車両によっては、満充電後すぐに放電できず、コネクタロックが解除される場合があります。その場合は、再度コネクタロックを行ってください。

停電時に放電できない場合

- 停電運転中に車両との接続（コネクタロック）をする場合、V2Hシステムから電気の供給が開始するまで30秒程度かかります。太陽光発電や蓄電池ユニットなど他の電力供給源から電力が供給できない場合、その間家電製品は使用できませんのでご注意ください。
- 車両の蓄電池残量が室内リモコンで設定する「非常時車両放電下限値」または車両ごとに定められた「放電可能下限値」以下の場合、放電ができません。
※専用アプリや室内リモコンで設定する「非常時車両放電下限値」を下げることで放電できる場合があります。(30ページ)
- 「非常時車両充放電有無」が「しない」になっている場合、停電時に車両からの放電はできません。「する」に設定してください。(30ページ)
- 停電運転中にV2Hシステムに異常が発生した場合、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止することがあります。その際は、「停電時に車両を利用した起動方法」(40ページ)に従って、本システムを起動してください。
- V2Hシステムが起動してから30分程度経過していない状態で停電が発生した際は、太陽光発電や蓄電池ユニットなど他の電力供給源から電力が供給できない場合、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止することがあります。その際は、「停電時に車両を利用した起動方法」(40ページ)に従って、本システムを起動してください。
- 車両によってはACC(アクセサリ)をOFFすると自立運転が停止する場合があります。その時はACC(アクセサリ)をONのままにしてください。詳しくは車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

停電時に車両の蓄電池残量が下限値を下回った場合

夜間など太陽光発電電力がない状態で停電になり、車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回った場合は、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが停止します。その場合は、専用アプリを利用することができず、室内リモコンのボタンをタッチしても何も表示されません。

太陽光発電電力が得られた場合と得られない場合および蓄電池ユニットを併設している場合とで対応が異なりますので、状況に応じて以下を参照してください。

- **太陽光発電電力が得られた場合**
ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムが起動し、その後太陽光発電の余剰電力が発生した場合に車両に充電を行います。
- **メモ**
 - 点検コードが表示された場合は、「点検コード(BExxx、BFxxx、Blxxx)が表示されたとき」(55ページ)の処置に従ってください。
- **太陽光発電電力が得られない場合**
復電するまで、本製品を利用することはできません。復電後は車両の蓄電池残量が12%程度になるまで強制的に充電を行い、その後は自動運転モードで動作します。
- **蓄電池ユニットを併設している場合**
蓄電池ユニットの残量が残っていた場合、蓄電池ユニットから電力を供給します。なお、太陽光発電電力が得られない状態で残量がゼロになった場合は、復電するまで本製品を利用することはできません。

充放電コネクタがコネクタロックできない場合

充放電コネクタがコネクタロックできないときは、以下の項目を確認してください。

- 充放電コネクタが確実に車両に接続されているか確認してください。
- 車両がパーキングの状態、パワースイッチ(車両によって名称が異なります)がOFFになっているか確認してください。
- V2Hシステムもしくは車両に異常が発生していないか確認してください。
- 充放電コネクタが凍結していないか確認してください。
 - 凍結により、充放電コネクタのロック機構が動作しないことがあります。そのときはドライヤーの温風を当てて解凍してください。ぬるま湯をかけて解凍することもできますが、充放電コネクタ内部に水分が入り込むと、内部で再凍結することがあります。充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。

充放電コネクタが取り出せなくなった場合

- コネクタロックが解除されていないと、充放電コネクタは取り出せません。プラグホルダの操作パネル、専用アプリ、または室内リモコンのいずれかで、コネクタロックの解除を行ってください。(19ページ)
- 点検コード「BI949」が表示された場合は、車両接続部の電圧異常により充放電コネクタのロックを保持している可能性があります。V2Hシステムを再起動しても充放電コネクタのロックが解除できない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 一度運転モードを設定してください。設定することで取り外せる場合があります。
 - ① プラグホルダの操作パネルにて、いずれかのボタンをタッチしてください。
 - ② 専用アプリまたは室内リモコンで、コネクタロックの解除を行ってください。(20ページ)
- 症状が変わらない場合は、「充放電コネクタを緊急離脱する場合」(47ページ)を参照してください。

充放電コネクタを落としてしまった場合

充放電コネクタのロック / アンロック表示が「青」になり、ロックがかかった状態になる場合があります。その場合は、車両に接続してコネクタロックの操作を行ってから再度コネクタロック解除操作を行うと、充放電コネクタのロック / アンロック表示が「銀」になり、コネクタロックが解除されます。

充放電コネクタが濡れてしまった場合

布などで水分を拭き取ってください。そのままにしておくと、感電の原因となります。

充放電コネクタが凍結してしまった場合

冬季中、充放電コネクタが凍結し抜けなくなることがあります。その場合は無理に抜こうとせず V2H システムの動作を停止し、ドライヤーの風をあてる、もしくはぬるま湯をかけて解凍してください。付着した水分は乾いた布で拭き取ってください。

その他ご使用に関する操作方法等

充放電コネクタを緊急離脱する場合

緊急離脱について

緊急の場合は、付属の「充放電コネクタ緊急離脱工具」を使用して充放電コネクタを取り外すことができます。

- 緊急離脱を行った場合は、充放電コネクタは利用できなくなるため、必ずお買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 保証期間中であっても、不具合以外の要因で緊急離脱を行った場合のサービス対応費用はお客様ご負担となります。

重要

充放電コネクタ緊急離脱工具の入った袋に取扱説明書が同封されています。

“開封前に必ずお読みください”として下記を明示しています。開封された場合は下記内容に同意されたものとみなします。

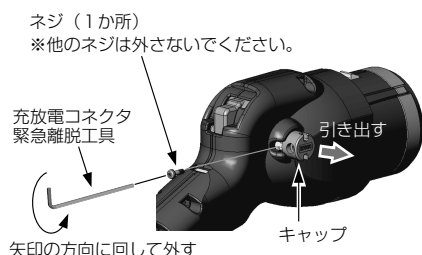
- 緊急離脱を行った充放電コネクタは使用できなくなります。
- 緊急離脱を行った場合はサービス対応による点検と内部スイッチ機能の回復が必要となります。
- 本書の「安全のために必ずお守りください」を作業前に必ずお読みください。
- 本書の記載内容を熟読し、手順に従って作業を行ってください。

緊急離脱の手順

作業前に以下を確認してください。

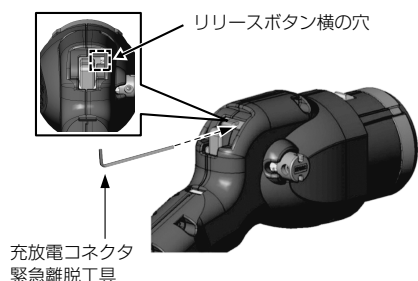
- 充放電が停止していること
- プラグホルダのランプがすべて消灯していること
- 12V 電源ケーブルが接続されていないこと

1 充放電コネクタ緊急離脱工具を使用してキャップのネジを外して、キャップを引き出す



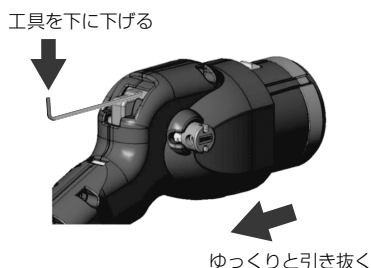
この操作（キャップを引き出す）をすると、充放電コネクタは使用できなくなります。サービス対応による機能の回復（有償）が必要になります。

2 キャップを引き出した後、リリースボタン横の穴に充放電コネクタ緊急離脱工具を差し込む



穴の下面に沿わずよう差し込んでください。奥まで差し込まないと取り出せないことがあります。

3 充放電コネクタ緊急離脱工具を下げながら、充放電コネクタをゆっくりと充電口から引き抜く



重要

緊急離脱工具を使用した場合は、充放電コネクタは利用できなくなります。取り外し完了後は必ずお買い上げの販売会社にご連絡ください。

停電発生時の動作を変更したい場合

停電が発生した際の電力供給を自動または手動のどちらで開始するかを設定できます。下記に従って、操作を行ってください。

●停電発生前の事前設定

1 「機器情報」をタッチする

● 専用アプリ

● 室内リモコン

● 専用アプリの場合

ドローメニューの「機器情報」をタッチ→「機器情報」画面に切り替わります。

メモ

- 「機器情報」画面はスクロールして項目を表示してください。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「機器情報」を選択し「設定」をタッチ→機器情報画面で「設定情報」を選択し「設定」をタッチ→「設定情報」画面に切り替わります。

メモ

- 「 \wedge / \vee 」をタッチして項目を選択します。

2 「停電時出力」を変更する

● 専用アプリ

● 室内リモコン

● 専用アプリの場合

「停電時出力」を「自動」または「手動」(36ページ参照)に設定し、「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、変更内容を確定してホーム画面に戻ります。

メモ

- 「機器情報」画面はスクロールして項目を表示してください。
- 機器情報を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「機器情報」画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合

設定情報画面で「停電時出力」を選択し「設定」をタッチ→停電時出力画面で「自動」または「手動」(36ページ参照)を選択し「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、変更内容を確定して前画面に戻ります。

メモ

- 「 \wedge / \vee 」をタッチして項目を選択します。「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

3 「各種設定」 → 「V2H システム」 をタッチする

● 専用アプリ

● 室内リモコン

● 専用アプリの場合

ドローメニューの「各種設定」をタッチ→「V2H システム」をタッチ→「各種設定 / V2H システム」画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「各種設定」を選択し「設定」をタッチ→各種設定画面で「V2H システム」を選択し「設定」をタッチ→「V2H システム」画面に切り替わります。

メモ

- 「 \wedge / \vee 」をタッチして項目を選択します。

4 「非常時車両充放電有無」を「する」に設定する

● 専用アプリ

● 室内リモコン

● 専用アプリの場合

「非常時車両充放電有無」を「する」(30 ページ参照)に設定し、「確定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、変更内容を確認してホーム画面に戻ります。

メモ

- 「V2H システム」画面はスクロールして項目を表示してください。
- V2H システムを変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「V2H システム」画面に戻ります。

● 室内リモコンの場合

V2H システム画面で「非常時車両充放電有無」を選択し「設定」をタッチ→非常時車両充放電有無画面で「する」(30 ページ参照)を選択し「設定」をタッチすると、設定確認画面に切り替わります。「設定」をタッチすると、変更内容を確認して前画面に戻ります。

メモ

- 「 \wedge / \vee 」をタッチして項目を選択します。「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

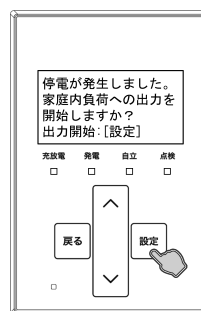
● 停電発生時の操作

● 「停電時出力」が「自動」の場合

自動的に家電製品への電力供給を行います。
室内リモコンの操作は必要ありません。

● 「停電時出力」が「手動」の場合

■ 「停電時出力確認」画面例



停電が発生すると、室内リモコンに確認画面が表示されます。配線やコンセントと接続している家電製品などが安全であることを確認してから、室内リモコンの「設定」をタッチしてください。

「設定」をタッチすると前画面に戻り、家電製品への電力供給を行います。繰り返し停電が発生した場合は、その都度操作をしてください。

長期不在の場合

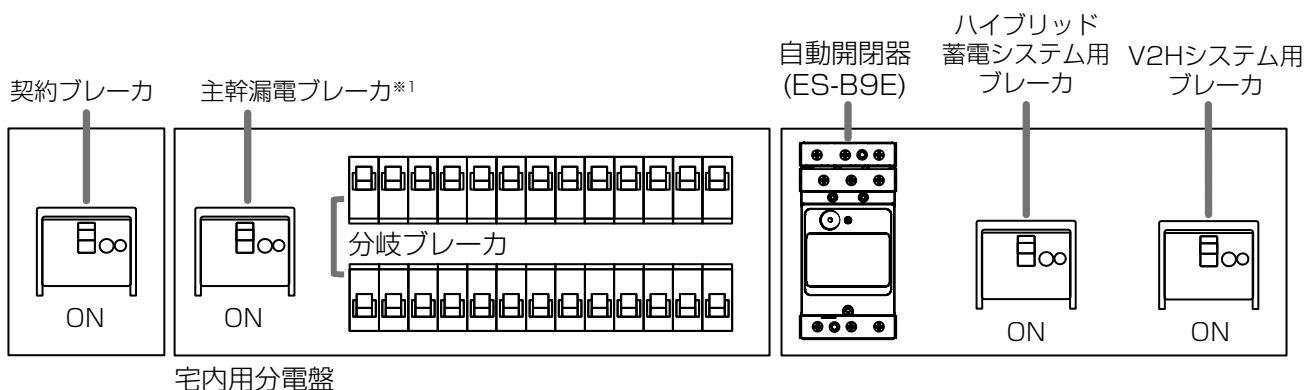
長期不在となる場合は、運転モードを「グリーンモード」もしくは「売電モード」に設定し、「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」、「V2Hシステム用ブレーカ」は「ON」の状態を維持してください。

重要

蓄電池ユニットを併設している場合、蓄電池ユニットの過放電を防止するため、通常は長期不在の間もハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムの運転を継続するようにしてください。お客様の事情により、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムの運転状態を切り替えたい場合は、以下の事項に注意してご使用ください。

- 契約ブレーカのみをOFFにすることで、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムは自立運転に切り替わり、電力会社から買電せずに運転を継続することができます。
ただし、自立運転中に太陽光発電電力が無い状態で車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回った場合、かつ蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロになってしまった場合、ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムは停止します。その場合は、家電製品などへの給電ができなくなりますのでご注意ください。
- やむを得ない理由によりハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムを停止する場合は、「ハイブリッド蓄電システムおよびV2Hシステムを停止させて不在する場合」(51ページ)の手順に従って対応してください。

■ 分電盤、ブレーカ配置例



※ 1: 主幹漏電ブレーカは分岐ブレーカの隣に配置しています。

メモ

- 家電製品に電気を供給したくない場合は、宅内用分電盤の個々の分岐ブレーカを「OFF」に切り替えてください。
- 点検コードが出た状態で放置しないでください。蓄電池ユニットを併設している場合、蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換(有償)が必要となります。

ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを停止させて不在する場合

ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを長期間停止する場合は、過放電を防止するため、本製品内部の操作が必要となります。お客様は本製品内部を開けられず操作できません。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。また、長期不在から戻られた際にはお買い上げの販売会社にご連絡のうえ、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを速やかに起動させてください。

重要 「過放電にご注意ください」

本製品は、太陽電池モジュールが発電すると、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを自動で起動する制御がはたされますが、契約ブレーカやハイブリッド蓄電システム用ブレーカが「OFF」になっていると、蓄電池ユニットを併設している場合、制御中に蓄電池ユニットの充電が行えず、蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。過放電を防止するために、本製品内部の操作、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ、V2H システム用ブレーカは正しく操作する必要があります。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。なお、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを停止した後は、停止してから 1 年以内に必ず起動させてください。停止期間が 1 年間を超えると蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。

- 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ、V2H システム用ブレーカを長期間「OFF」にする、あるいはハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを長期間「運転停止」する必要がある場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 蓄電池ユニットを残量が 30%以上になるまで充電する（蓄電池ユニットを併設している場合）。
 - ② ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを停止させる（下記参照）。
 - ③ 本製品内部の「PV 直流開閉器 1～5」を「OFF」にする。
※お客様は操作できません。
 - ④ 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ、V2H システム用ブレーカを「OFF」にする。
- 上記操作後に、再度契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ、V2H システム用ブレーカを「ON」にする、あるいはハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの起動を再開する場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ、V2H システム用ブレーカを「ON」にする。
 - ② 本製品内部の「PV 直流開閉器 1～5」を「ON」にする。
※お客様は操作できません。
 - ③ ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを起動させる（53 ページ参照）。

ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを停止させる場合

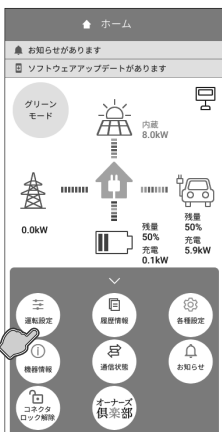
風水害により水没のおそれがある場合やサービス対応などでハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを停止させる場合は、室内リモコンまたは専用アプリより下記手順に従って操作してください。

重要

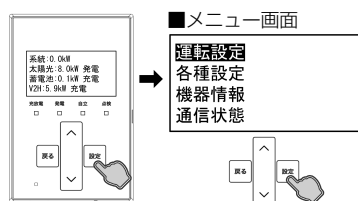
- ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを運転停止の状態では放置しないでください。蓄電池ユニットを併設している場合、蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換（有償）が必要となります。ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを運転停止した際は、速やかに起動させ運転状態にしてください。
- ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを停止させる場合を除き、室内リモコンの電源をむやみに OFF にしないでください。OFF にするとその間ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムは運転停止の状態となりますのでご注意ください。

1 「運転設定」をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチすると、「運転設定」画面に切り替わります。

● メモ

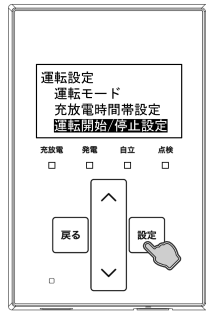
- 「∧ / ∨」をタッチして項目を選択します。

2 「運転停止」(室内リモコンは「運転開始 / 停止設定」を選択して「設定」) をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

「運転停止」をタッチすると、運転停止の確認画面に切り替わります。

● 室内リモコンの場合

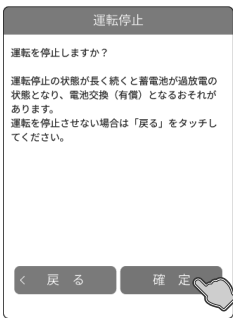
運転設定画面で「運転開始 / 停止設定」を選択し「設定」をタッチすると、運転停止の確認画面に切り替わります。

✎ メモ

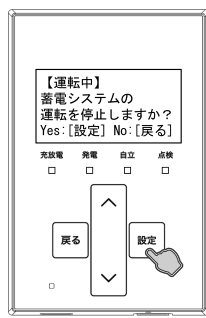
- 「↑ / ↓」をタッチすると選択メニューをスクロール表示して選択できます。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

3 ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの運転を停止する

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

「確定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの運転を停止して、停止処理画面に切り替わります。「戻る」をタッチすると、運転を停止せずに前画面に戻ります。

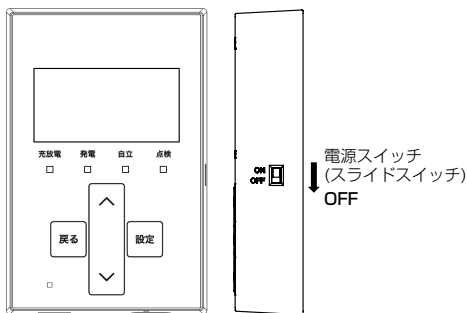
● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの運転を停止して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、運転を停止せずに前画面に戻ります。

✎ メモ

- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

4 室内リモコンの電源を「OFF」にする



室内リモコンの電源スイッチ (スライドスイッチ) を OFF にしてください。

5 ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする

「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。

✎ メモ

- 「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」の位置は、50 ページを参照してください。

6 V2H システム用ブレーカを「OFF」にする

「V2H システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。

✎ メモ

- 「V2H システム用ブレーカ」の位置は、50 ページを参照してください。

ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを起動させる場合

ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムを起動させる場合は、室内リモコンまたは専用アプリより下記手順に従って操作してください。

1 V2H システム用ブレーカを「ON」にする

「V2H システム用ブレーカ」を「ON」にしてください。



- 「V2H システム用ブレーカ」の位置は、50 ページを参照してください。

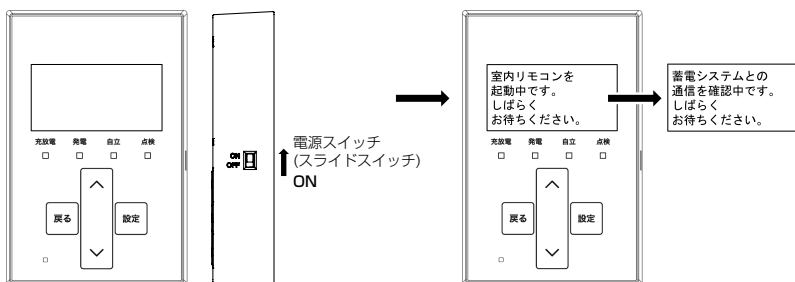
2 ハイブリッド蓄電システム用ブレーカを「ON」にする

「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」を「ON」にしてください。



- 「ハイブリッド蓄電システム用ブレーカ」の位置は、50 ページを参照してください。

3 室内リモコンの電源を「ON」にする



室内リモコンの電源スイッチ (スライドスイッチ) を ON にしてください。本システムとの通信が確認できると、「ホーム」画面に切り替わります。



- 室内リモコン起動中およびハイブリッド蓄電システム通信確認中は、室内リモコンの電源を「OFF」しないでください。

4 専用アプリを起動して室内リモコンに接続する (専用アプリを利用する場合)

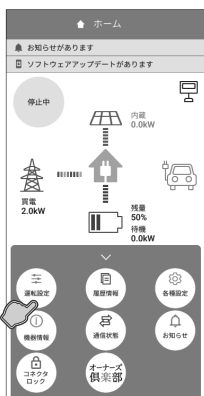
● 専用アプリ

接続方法については、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「専用アプリの設定について」を参照してください。室内リモコンと接続すると、「ホーム」画面に切り替わります。

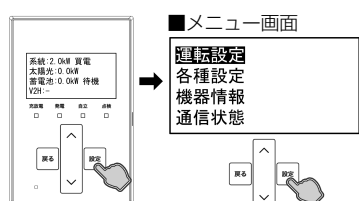


5 「運転設定」をタッチする

● 専用アプリ



● 室内リモコン



● 専用アプリの場合

ドローメニューの「運転設定」をタッチ→「運転設定」画面に切り替わります。

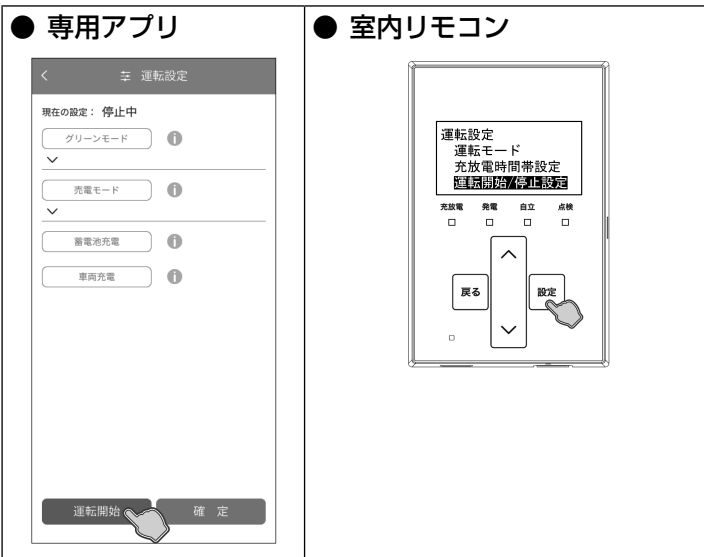
● 室内リモコンの場合

「設定」をタッチ→メニュー画面で「運転設定」を選択し「設定」をタッチすると、「運転設定」画面に切り替わります。



- 「 \wedge / \vee 」をタッチして項目を選択します。

6 「運転開始」(室内リモコンは「運転開始 / 停止設定」を選択して「設定」) をタッチする

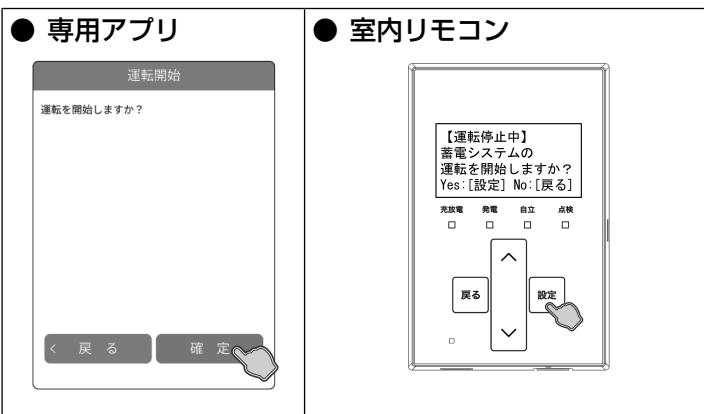


- **専用アプリの場合**
「運転開始」をタッチすると、運転開始の確認画面に切り替わります。
- **室内リモコンの場合**
運転設定画面で「運転開始 / 停止設定」を選択し「設定」をタッチすると、運転開始の確認画面に切り替わります。

メモ

- 「↑ / ↓」をタッチして項目を選択します。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

7 ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの運転を開始する



- **専用アプリの場合**
「確定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの運転を開始して「ホーム」画面に切り替わります。「戻る」をタッチすると、運転を開始せずに前画面に戻ります。
- **室内リモコンの場合**
「設定」をタッチすると、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムの運転を開始して前画面に戻ります。「戻る」をタッチすると、運転を開始せずに前画面に戻ります。

メモ

- 「戻る」をタッチすると一つ前の画面に戻ります。「ホーム」画面に戻るまで「戻る」をタッチしてください。

点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき

ハイブリッド蓄電システムもしくは V2H システムが何らかの原因で停止すると、点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」(xxx には 3 桁の数字が入ります) が表示されます。点検コードが表示されたときは、「点検コードのメッセージと処置」(55 ページ) に従って処置してください。

お買い上げの販売会社またはニチコン株式会社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードを合わせてご連絡ください。(「アフターサービスについて」(62 ページ) 参照)

■ 点検コード画面例

● 専用アプリ

① 点検コード
発生した点検コードを表示します。

② メッセージ
点検コードの内容を表示します。(55 ページ)

③ 機種名 / ④ 製造番号
システム機種名と製造番号を表示します。(36 ページ)

⑤ 非表示【専用アプリ】
タッチすると、点検コードを非表示にします。30 秒経過しても解消されない場合は再度表示します(「BE000」除く)。

⑥ 再起動【専用アプリ】
タッチすると、ハイブリッド蓄電システムを再起動します。V2H システムを再起動する場合は、「V2H システムを再起動する場合」(59 ページ) を参照してください。

⑦ 設定【室内リモコン】
タッチすると、ハイブリッド蓄電システムを再起動します。V2H システムを再起動する場合は、「V2H システムを再起動する場合」(59 ページ) を参照してください。

⑧ 戻る【室内リモコン】
タッチすると、ブザー音を停止して 30 秒間点検コードを非表示にします。

⑨ 消音 / V ボタン【室内リモコン】
タッチすると、ブザー音を停止します。

メモ

- 室内リモコンの点検コード画面は 3 秒ごとに自動で切り替わります。

● 室内リモコン

重要

点検コードが表示された状態で放置しないでください。蓄電池ユニットを併設している場合、蓄電池ユニットが過放電の状態となることがあります。蓄電池ユニットが過放電になると、電池交換(有償)が必要となります。

点検コードのメッセージと処置

点検コード	メッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BI701	V2H システムが車両からの停止指示により、自動停止しました。 電気機器および車両の状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	車両からの停止指示により、V2H システムが停止しました。	電気機器および車両の状態をご確認ください。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI703, BI704, BI713	V2H システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2H システム取扱説明書に従って V2H システムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2H システムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2H システムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI715	V2H システムと車両の通信が確立されませんでした。 充放電コネクタの差し込み状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	充放電コネクタを確認してください。	充放電コネクタの差し込み状態をご確認ください。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検コード	メッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BI719, BI720, BI722	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。* ¹ 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI723	V2Hシステムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全確認後、自動的に復帰します。	自動的に復帰します。* ¹ 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI730	V2Hシステムの非常停止ボタンが押されました。 安全を確認の上、再度非常停止ボタンを押してからコネクタロックを行ってください。	V2Hシステムの非常停止ボタンが押されました。	安全確認後、再度V2Hシステムの非常停止ボタンを押してからコネクタロックを行ってください。* ¹
BI810, BI811, BI815, BI816, BI817, BI818	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。* ¹ 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI819, BI820	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賸いきれなくなると表示されます。* ¹
BI821, BI833, BI834	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。* ¹ 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI835	V2Hシステムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全確認後、自動的に復帰します。	自動的に復帰します。* ¹ 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI836, BI837, BI838, BI839	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。* ¹ 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI842	V2Hシステムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全確認後、自動的に復帰します。	自動的に復帰します。* ¹ 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI845	V2Hシステムの非常停止ボタンが押されました。 安全を確認の上、再度非常停止ボタンを押してからコネクタロックを行ってください。	V2Hシステムの非常停止ボタンが押されました。	安全確認後、再度V2Hシステムの非常停止ボタンを押してからコネクタロックを行ってください。* ¹

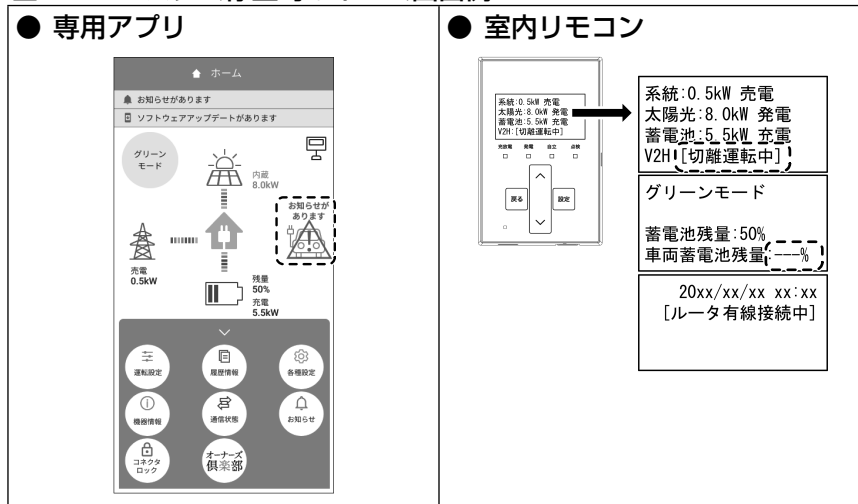
点検コード	メッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BI846	V2Hシステムが車両からの停止指示により、自動停止しました。 電気機器および車両の状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	車両からの停止指示により、V2Hシステムが停止しました。	電気機器および車両の状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI847	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賅いきれなくなると表示されます。 ^{*1}
BI848	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 ご家庭の家電製品の電源をいくつか切って、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってください。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	メッセージに従い家電製品の電源を切り、V2Hシステムを再起動してください。 停電時にV2Hシステムからの給電で電力が賅いきれなくなると表示されます。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI849, BI850, BI851	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賅いきれなくなると表示されます。 ^{*1}
BI853	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 ご家庭の家電製品の電源をいくつか切って、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってください。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	メッセージに従い家電製品の電源を切り、V2Hシステムを再起動してください。 停電時にV2Hシステムからの給電で電力が賅いきれなくなると表示されます。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI854, BI856	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賅いきれなくなると表示されます。 ^{*1}
BI858	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 ご家庭の家電製品の電源をいくつか切って、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってください。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	メッセージに従い家電製品の電源を切り、V2Hシステムを再起動してください。 停電時にV2Hシステムからの給電で電力が賅いきれなくなると表示されます。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI860, BI861, BI862, BI863, BI868, BI869, BI870, BI871, BI872	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI874	V2Hシステムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全確認後、自動的に復帰します。	自動的に復帰します。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI879, BI880	接続機器の消費電力がV2Hシステムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	家電製品の接続を減らしてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賅いきれなくなると表示されます。 ^{*1}

点検コード	メッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BI886, BI887	V2Hシステムの温度が上昇しているため、出力を抑制しています。 V2Hシステムの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。 表示を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムの出力抑制中です。	V2Hシステムの温度が上昇している場合に表示されます。 V2Hシステムの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。 表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI888, BI889, BI890, BI891, BI892, BI893, BI894, BI895, BI896, BI900, BI901, BI902, BI903, BI904, BI908, BI909, BI911, BI912, BI915, BI916, BI917, BI918	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI919	V2Hシステムのソフトウェアの更新に失敗しました。 V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 再度自動停止した場合には、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	ソフトウェアの更新に失敗しました。	V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。 ^{*1} 再度自動停止した場合には、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI922, BI925, BI926, BI931, BI933, BI934, BI935, BI936, BI937, BI938, BI939, BI940, BI942, BI944, BI945, BI948	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムを再起動してから、コネクタロックを行ってください。 ^{*1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI949	V2Hシステムが車両接続部の電圧異常を検出したため、充放電コネクタのロックを保持しております。 V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってください。 充放電コネクタのロックを解除できない場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	安全のため、充放電コネクタのロックを保持しています。	V2Hシステムを再起動してください。 ^{*1} 充放電コネクタのロックを解除できない場合は、感電のリスクがあるため無理に外そうとはせずにお買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検コード	メッセージ	室内リモコンメッセージ	処置
BI950	V2Hシステムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステム取扱説明書に従ってV2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムを再起動してください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2Hシステムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 ^{※1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI951	V2Hシステムと車両の通信が確立されませんでした。 充放電コネクタの差し込み状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	充放電コネクタを確認してください。	充放電コネクタの差し込み状態をご確認ください。 ^{※1} 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI952	V2Hシステムが車両からの停止指示により、自動停止しました。 電気機器および車両の状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	車両からの停止指示により、V2Hシステムが停止しました。	電気機器および車両の状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※ 1: 該当の点検コードが表示されている場合、ハイブリッド蓄電システムはV2Hシステムの充放電を停止して動作を継続します。その際、専用アプリおよび室内リモコンのホーム画面にV2Hシステムが停止していることのご案内を表示しますので、「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(55 ページ) に従って処置してください。
該当の点検コードが解消されると、ホーム画面のご案内表示を解除してV2Hシステムの動作を再開します。

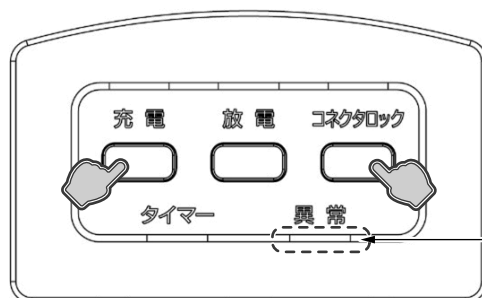
■ V2Hシステム停止時のホーム画面例



V2Hシステムを再起動する場合

V2Hシステムのプラグホルダ側操作パネルで「充電」ボタンと「コネクタロック」ボタンを同時に3秒長押ししてください。V2Hシステムを再起動します。

■ 操作パネル



再起動により点検コードが解消すると、「異常LED」ランプは消灯します。

「充電」ボタンと「コネクタロック」ボタンを同時に3秒長押ししてください。

V2H システムを廃棄する場合

本製品の使用を終了した後は、適切な方法ですみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
廃棄費用はお客様負担となります。

風水害または地震などの対応

- 風水害により水没のおそれがあるときは、あらかじめ本システムの運転を停止させて、ハイブリッド蓄電システム用ブレーカおよび V2H システム用ブレーカを「OFF」にしてください。(51 ページ)
- 水没した場合は、本システムを停止させた状態で、お買い上げの販売会社までご連絡ください。
- 地震により点検コードが表示されるなどの異常が発生した場合は、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

蓄電池ユニットのメンテナンスモード（自動点検）について

メンテナンスモードとは、蓄電池ユニットの性能維持のため、自動的に点検するモードです。(蓄電池ユニットを併設している場合に実施されます。)

詳しくは、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「蓄電池ユニットのメンテナンスモード（自動点検）について」を参照してください。

重要

- 車両の充放電動作中にメンテナンスモードが開始された場合は、車両の動作を中止します。
- メンテナンスモード実施中に車両の充電を行いたい場合は、運転モードを「車両充電」に設定してください。なお、運転モードを「車両充電」に変更すると、メンテナンスモードは中止されます。
- メンテナンスモード実施中に運転モードを「グリーンモード」または「売電モード」に設定すると、メンテナンスモードは中止ならず、メンテナンスモード完了後に設定されたモードで動作します。
- メンテナンスモード実施中に蓄電池残量が 10% を下回った車両が接続された場合は、接続された時点でメンテナンスモードを中止し、車両の蓄電池残量が 12% 程度になるまで強制的に充電を行います。12% 程度まで充電を行った後は、メンテナンスモード開始前の自動運転モードに戻り、その後翌日の午前 1 時にメンテナンスモードを再実施します。

車両に接続する際の注意点

車両を V2H システムに接続する際は、以下の内容をご確認ください。

接続対応車種について

- 対応車種の最新情報は、ニチコン株式会社のホームページをご確認ください。接続確認ができた車両については、順次公開します。なお、今後発売されるすべての車両接続をお約束するものではありません。

■対応車種一覧



<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>

- 対応車種の中でも車両側のプログラムを変更する必要がある場合があります。車両のプログラムの変更に関しては、車両の販売店へお問い合わせください。

接続するまえに

- 接続する車両の取扱説明書をご確認ください。
- 大雨の中（暴風雨や雷が予測されるなか）では使用しないでください。ただし、雨や雪の中でも、下記にご注意いただければ使用可能です。
 - 感電や漏電を防止するため、濡れた手で充放電コネクタに触れたり、抜き挿しをしないでください。
 - 万が一、コネクタが濡れてしまったり、雪が付着している場合は、布などで水分、雪を拭きとってください。
- 自立運転を行う際に V2H システムを起動するための電源供給は、付属の 12V 電源ケーブルを使用する車両と充放電コネクタから直接供給される車両があります。車両の操作を含め、接続する車両の取扱説明書をご確認ください。

接続中の注意

- V2H システムを使用中は、車両側の各種設定や機能（充電の上限設定、タイマー充電など）を使用せず、V2H システム側の設定機能を使用してください。
- 放電に対応していない車種は、本製品の放電機能を使用できません。
- 充放電時間帯中は、充放電を行っていない場合でも車両と V2H システム間の通信維持のため、車両の蓄電池が電力を消費します。
- 車両によってはバッテリー性能維持のため、定期的な普通充電の使用が推奨されていることがあります。
- 車両からの指示で V2H システムの充放電電力が抑制されたり、充放電が設定値より早く停止することがあります。
- その他車両ごとの注意事項については、ニチコン株式会社のホームページをご確認ください。

日産自動車株式会社の車両 (EV) に接続する際の注意点

日産自動車株式会社の車両と V2H システムの充放電コネクタを接続した状態で「EV - IT」や「NissanConnect」機能は使用しないでください。車両および本製品の機能が正常に動作しません。誤って使用してしまい、正常に動作しなくなった場合は、下記の操作を行ってください。

- 車両のリセット
 - (1) 充放電コネクタを車両から外します。
 - (2) 車両のブレーキペダルを踏み、パワースイッチを ON にします。
 - (3) 車両のタイマー機能 (タイマー充電、タイマーエアコン) が設定されている場合は、設定を解除します。
 - (4) 車両のパワースイッチを OFF にします。
- 点検コード発生時の対処
上記車両のリセットを行っても、専用アプリや室内リモコンに点検コードが表示されたままの場合は、専用アプリや室内リモコンに表示しているメッセージに従い、V2H システムを再起動してください。

三菱自動車株式会社の車両 (EV) に接続する際の注意点

コネクタロック状態で充放電状態を行っていない、または充放電電力が 200 W 以下の状態が 15 分以上続くと、充放電を停止し、コネクタロックを解除します。契約電力と比較して、家庭内消費電力が大きいため、充電電力が確保できない場合は、契約電力を見直すか、ご家庭の使用電力を小さくするよう調整してください。

メルセデス・ベンツ日本合同会社の車両 (EV/PHEV) に接続する際の注意点

車両の充放電電力が少ない場合や車両の蓄電池残量が 100% になると、車両からの要求で動作を停止し、コネクタロックが解除されることがあります。この場合、車両の再起動が必要となり、車両の鍵を携行して直接充放電コネクタの抜き差しが必要となります。

上記の現象を抑えるため、該当の車両をお持ちの場合は、下記の設定にてご利用ください。

- 車両充電上限値^{*1} : 「90%」もしくは車両の最大充電状態^{*2} の設定値よりも低い値
- 車両余剰充電上限値^{*1} : 「99%」もしくは車両の最大充電状態^{*2} の設定値よりも低い値
- 車両タイプ^{*1} : タイプ「3」

なお、上記の設定を行っても車両によっては車両の充放電電力が少ない状態が続くと点検コード「BI952」が表示されることがあります。その際は、車両の鍵を携行して直接充放電コネクタの抜き差しを行ってください。

※ 1: 詳しくは「V2H システムの各種設定について」(29 ページ) を参照してください。

※ 2: 詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。

重要

車両タイプ「3」を選択していると、車両と V2H システム間の充放電電力が一定の条件を満たした場合、車両と V2H システム間の通信を遮断し、充放電動作を停止します。

車両の充放電動作が停止している状態で停電が発生した際は、太陽光発電や蓄電池ユニットなど他の電力供給源から電力が供給できない場合、ハイブリッド蓄電システムおよび V2H システムが停止します。その際は「停電時に車両を利用した起動方法」(40 ページ) に従って、本システムを起動してください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。
販売会社からお渡しますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。
注：上記の記載がない場合には無効となることがあります。

アフターサービスについて

ご不明点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。また、機器や設置した建物の所有者の変更による機器の取り扱いについては、事前に販売会社にお問い合わせください。
販売元専用ダイヤルがご利用いただけない場合は、下記のニチコン株式会社のサービスセンターまたはお客様窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される場合は、次のことをご確認ください。

- お買い上げ時期
- 装置の型番と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

補修用性能部品の最低保有期間 / 修理対応期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品の製造終了から保証書に記載されている保証期間年数までとなります。
- 修理対応期間は、保証期間と同一期間とさせていただきますが、保証期間を過ぎていても修理可能な製品については、有料にて修理いたします。

移設などで機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください

お客様ご自身では移設を行わないでください。

販売元専用ダイヤル		お買い上げの販売会社にお問い合わせください
ニチコン株式会社	故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社サービスセンター 電話 : 03-5212-9211 ファックス : 03-5211-2153 平日・土・日・祝日・休業日 : 9時～18時
	製品の使用方法などに関するお問い合わせ先	ニチコン株式会社お客様窓口 電話 : 0120-215-030 メール : info-ess@nichicon.com 平日 : 9時～17時 土・日・祝日・休業日は除く

補助金に関するご注意

購入時に補助金の交付を受けた方

設置時から一定期間の使用が義務付けられています

補助金の支給を受けて本製品を購入した場合は、設置時から指定の期間、補助金の支給条件に従って本製品をご使用していただく必要があります。

設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

遠隔出力制御ルールに関するご注意

本製品は、2015年1月22日公布の再生可能エネルギー特別措置法施行規制の一部を改正する省令と関連告示に対応する機器です

再生可能エネルギーを最大限導入するために、電力会社の求めがあった場合は、遠隔出力制御を行う機器の設置が義務づけられました。省令改正に関して詳しくは、経済産業省のホームページをご参照ください。(https://www.meti.go.jp)
なお、遠隔出力制御は地域により対応が異なります。また、遠隔出力制御は電力会社の要請により実施されますので、詳しくは、各電力会社にお問い合わせください。

本製品は、電力会社の遠隔出力制御を有効にするために、インターネットへの接続が必要です

インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。なお、インターネットへ接続されない場合は、有償での訪問対応作業が必要となりますのでご注意ください。発電停止による損失は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、今後正式発表される遠隔出力制御の仕様によっては、機器のソフトウェア更新の他に、有償での対応作業が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。また、インターネットの接続方法については、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「ネットワークの設定【室内リモコンのみ】」を参照してください。

重要 太陽光発電の電圧上昇抑制や遠隔出力制御について

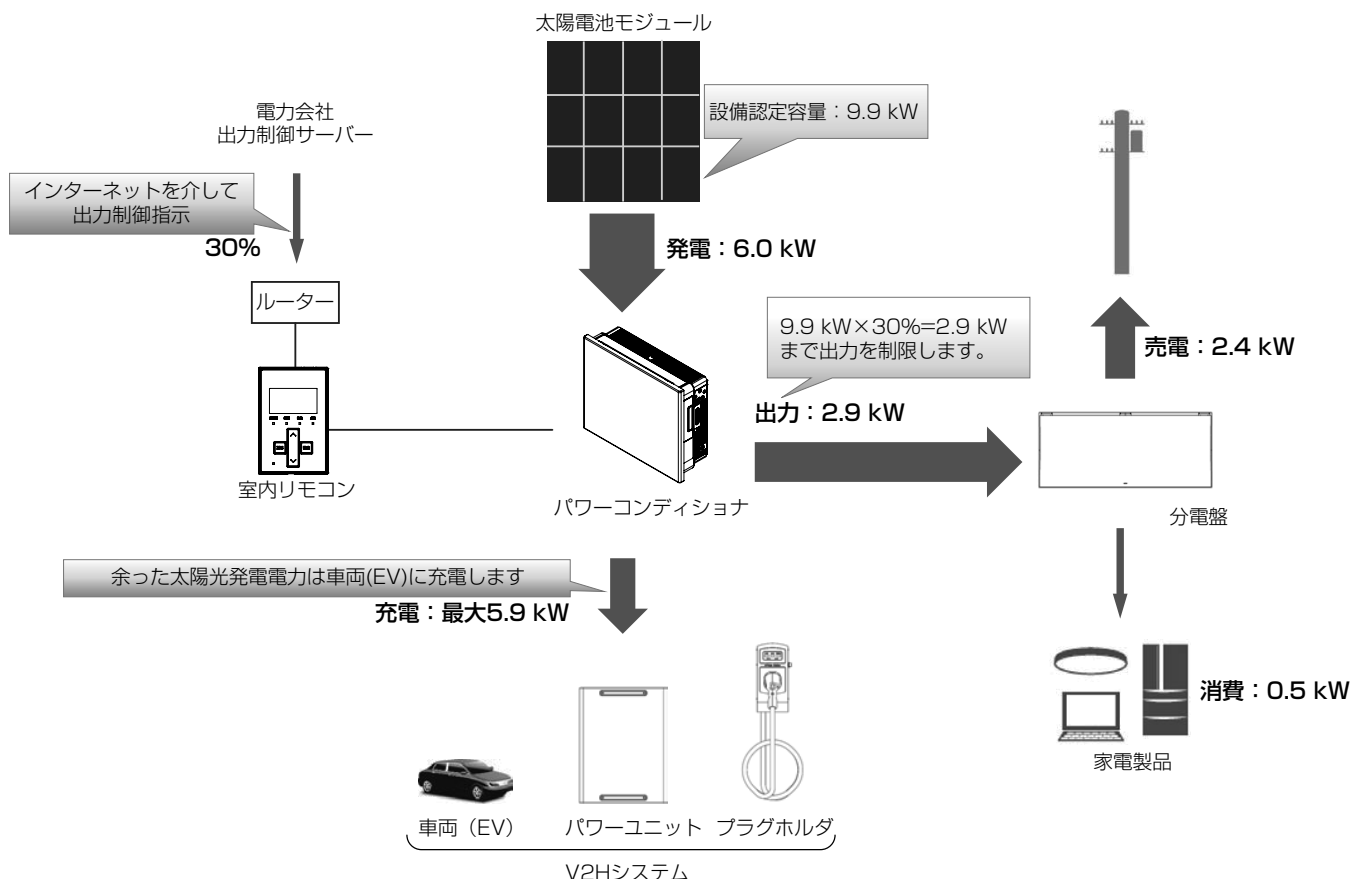
システムの様々な状況による電圧上昇抑制や、電力会社による出力制御要請により、太陽光発電の余剰電力の一部を売電できない場合があります。売電できない余剰電力は、お客様が設定した充放電時間内であれば車両へ充電を行います。以下の場合は車両へ充電しません。

- コネクタロックが解除されている場合
- V2Hシステムの「車両放電有無」が「しない」に設定されている場合(29ページ)
- 車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回っている場合

なお、蓄電池ユニットを併設している場合は、余剰電力は充電優先設定に従い車両もしくは蓄電池ユニットから充電されます。

■例：出力制御指示が30%の場合

本製品の設備認定容量の30%まで、パワーコンディショナの出力が制限されます。本製品の設備認定容量については、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書の「太陽光発電設定について」を参照してください。



仕様

V2H システム

型番	VSG3-666CN7	
外形寸法	パワーユニット	W 470 mm × H 620 mm × D 200 mm(突起部含まず)
	プラグホルダ	W 160 mm × H 355 mm × D 160 mm(突起部含まず)
本体質量	パワーユニット	26.2 kg
	プラグホルダ	7.9 kg
充放電コネクタケーブル長さ	7.5 m	
充電部 (システム連系時)	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)
	定格電圧	AC 202 V ± 12 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
	出力電力	6 kW 未満 ^{*1}
放電部 (システム連系時)	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
	AC 出力電力	6 kW 未満 ^{*2}
放電部 (自立時)	電気方式	単相 3 線式
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
	AC 出力電力	6 kVA 未満 (片相 3 kVA 未満) ^{*2}
待機電力	15 W 以下	
車両側電圧範囲	DC 150 V ~ 450 V	
冷却方式	自然空冷方式 (内部攪拌ファンあり) ^{*3}	
不要輻射	VCCI Class B 準拠 ^{*4}	
運転時騒音	40 dB (A) 以下	
防水 / 防塵 保護等級	IP55 相当	
設置環境	設置条件	屋外、標高 2,000 m 以下
	動作温度 ^{*5}	- 20°C ~ +50°C
周囲湿度	30% ~ 90%	

※ 1: 機器の入力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭での使用状況および車両の充電率によって異なります。

※ 2: 車両の状態 (車種、充電率) によって異なる場合があります。

※ 3: 動作中はパワーユニット内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の聞こえ方が異なることがあります。

※ 4: 電波障害となる場合がありますので、ラジオ・テレビ等の電波を利用する機器とは 3 m 以上離してください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。

※ 5: JIS C 62477-1 で規定する高温高湿試験 (定常) における最高湿度 85% の動作温度を示します。

V2H システムの使用温度範囲について

V2H システムを安全に動作させるため、V2H システムが指定の温度を検知した場合、V2H システムの動作に制限がかかります。

	温度範囲 ^{*1}	制限内容
V2H システム	- 20°C ~ +50°C	温度範囲の上限付近になると、V2H システム保護のため、充放電電力が低下する場合があります。

※ 1: 機器内部で検出した温度となります。

製造元：

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒 604-0845

<https://www.nichicon.co.jp>



ニチコンオーナーズ倶楽部

<https://owners.nichicon.co.jp>



ニチコンネットワークサービスについて

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf



取扱説明書電子版・専用アプリの入手はこちら

<https://www.nichicon.co.jp/products/ess/e2/ichijo>



V2H システム接続対応車種について

<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>



ICHIJO

Technological Homes